

キルギス共和国概況 経済編

在キルギス日本国大使館
2025年10月

目次

2 経済

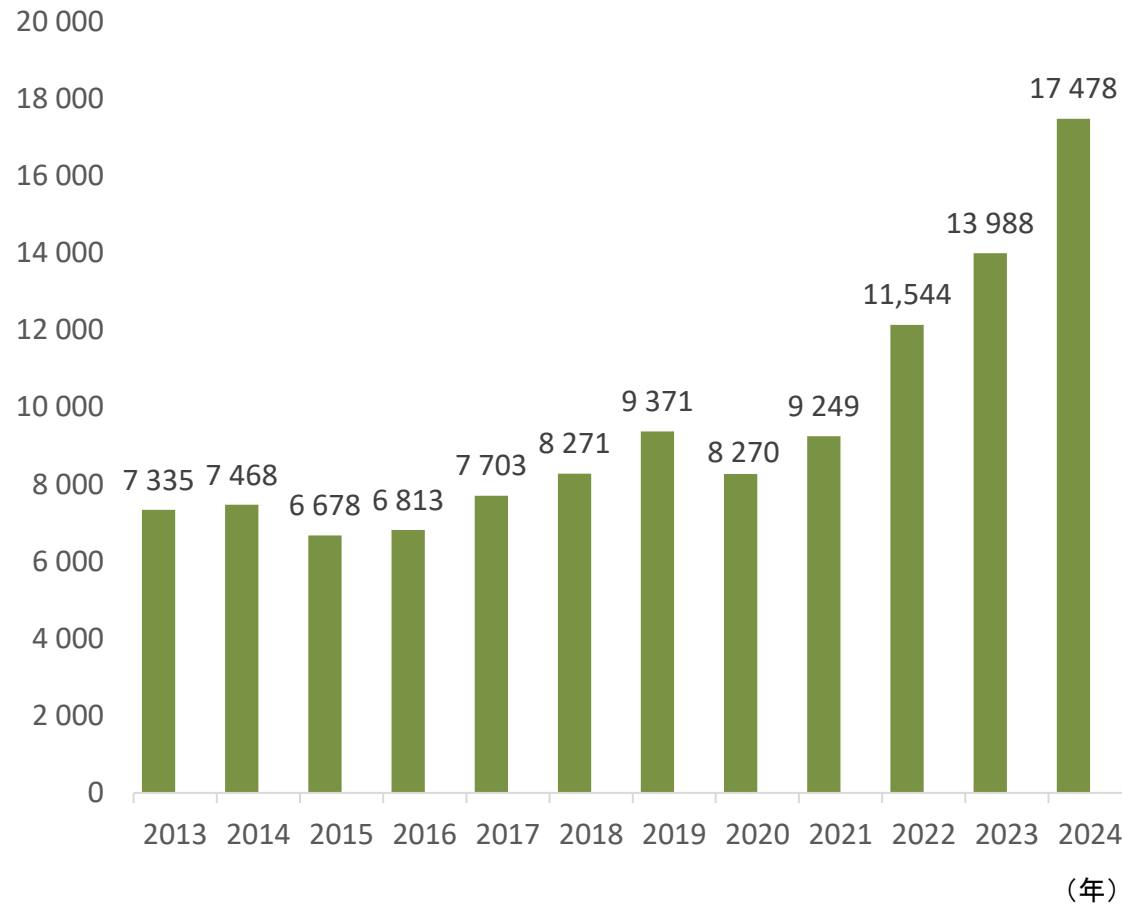
- 2－1 GDP
- 2－2 海外送金
- 2－3 財政構造
- 2－4 物価・為替・金融政策
- 2－5 主要産業
- 2－6 対外貿易
- 2－7 中国への経済的依存
- 2－8 投資
- 2－9 主要ドナーによる対キルギスODA

2 經濟

2-1 GDP:総額・一人当たり

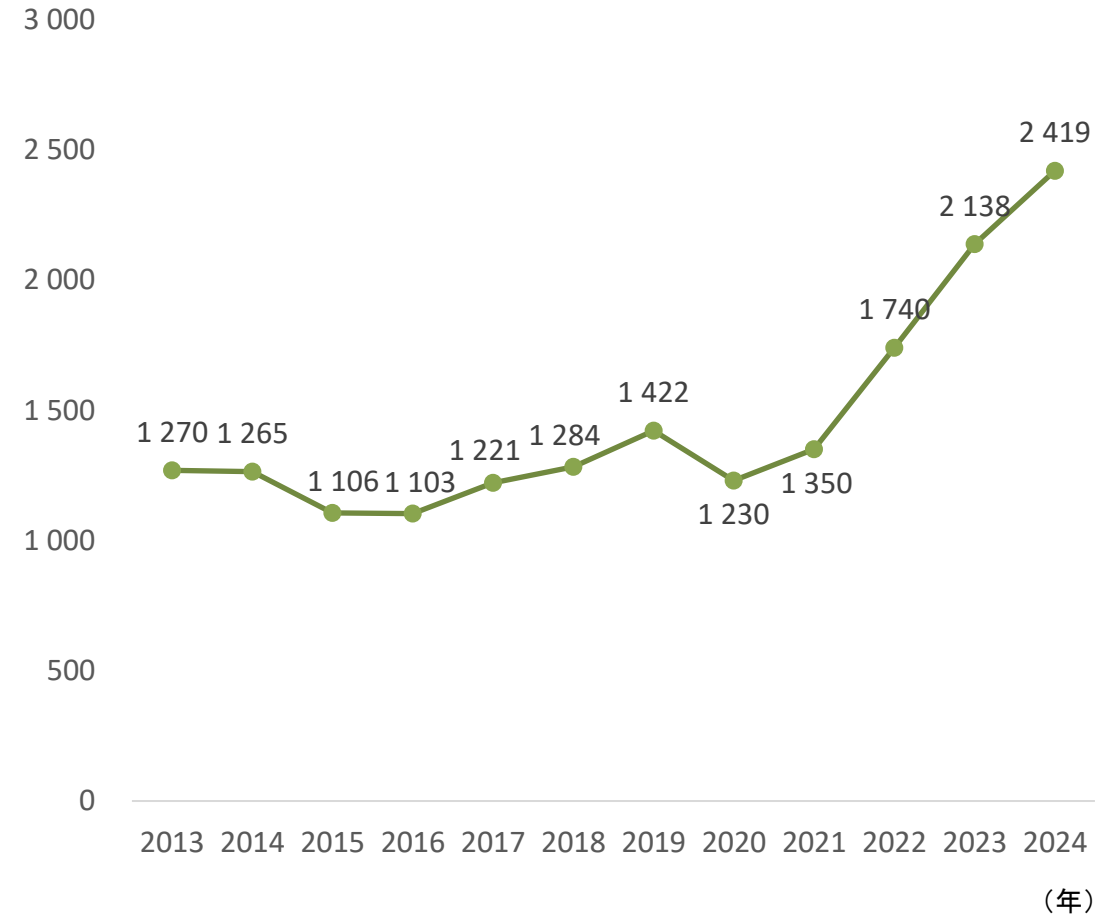
名目GDP:総額

(100万米ドル)



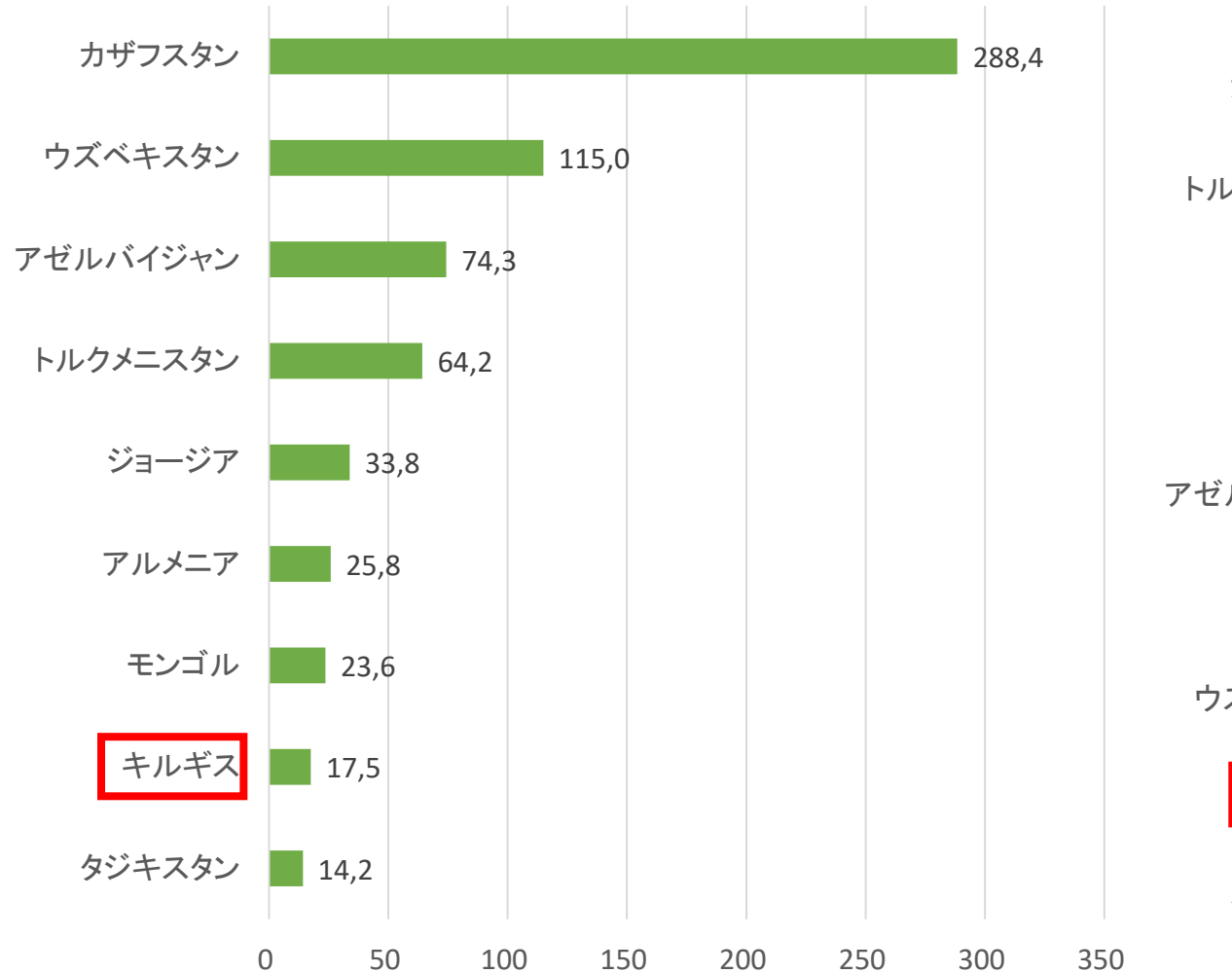
名目GDP:一人当たり

(米ドル)

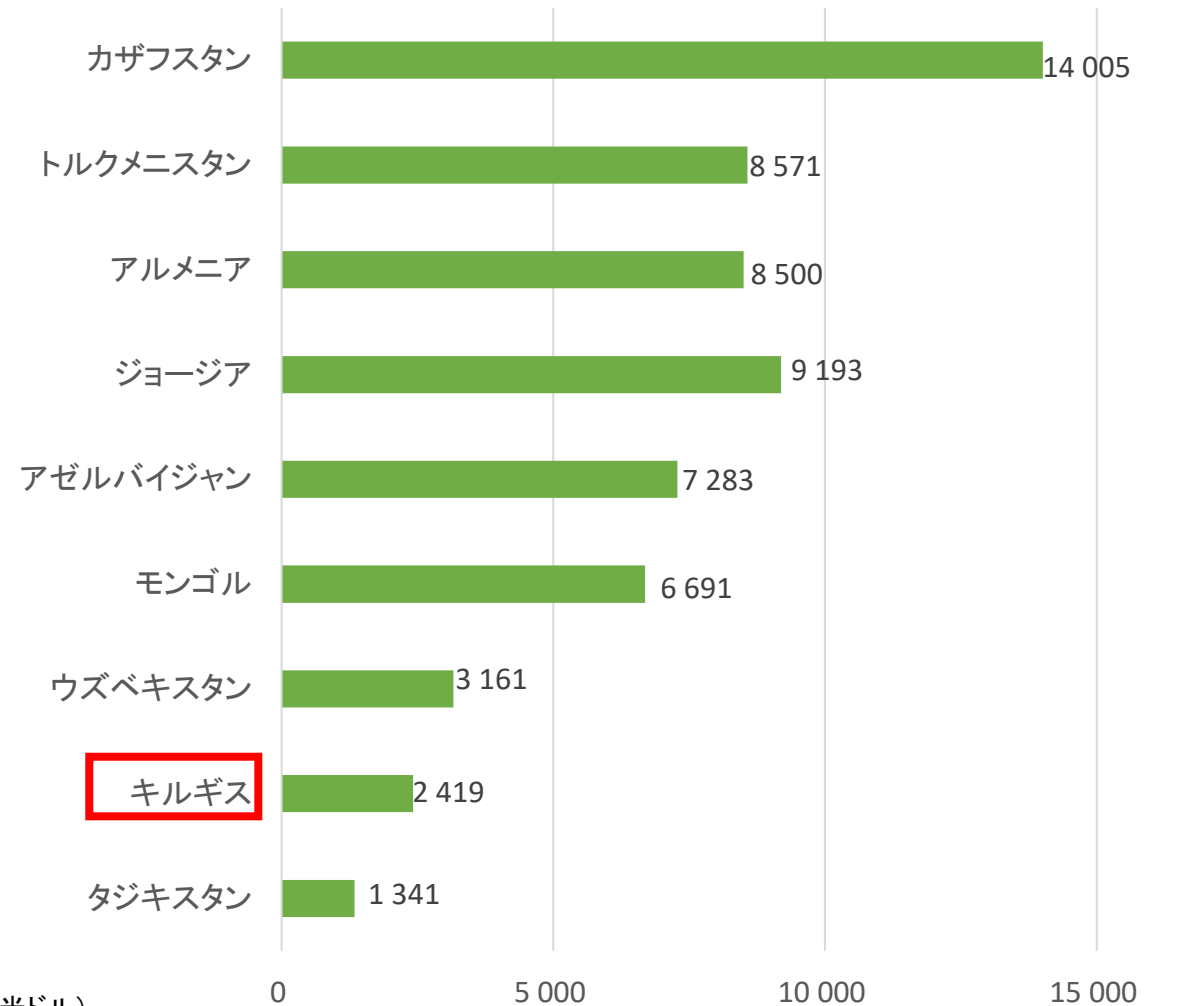


2-1 GDP:他国との比較

2024年名目GDP総額(単位:10億米ドル)



2024年一人当たり名目GDP(単位:米ドル)



※(参考)ロシアのGDPは2.0兆米ドル、一人あたりGDPは1万3187米ドル(2023年)

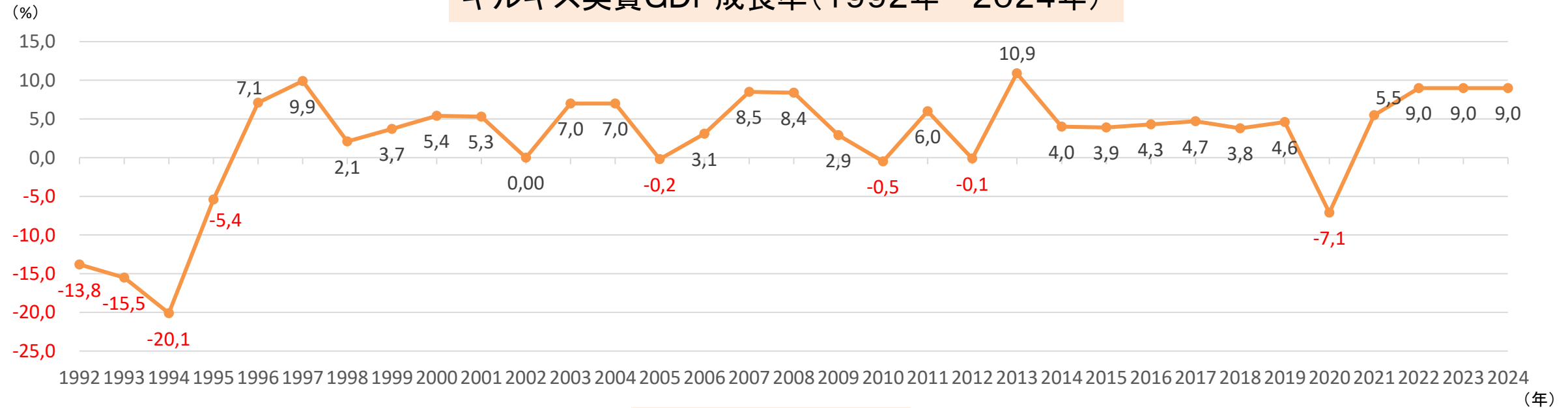
(10億米ドル)

(米ドル)

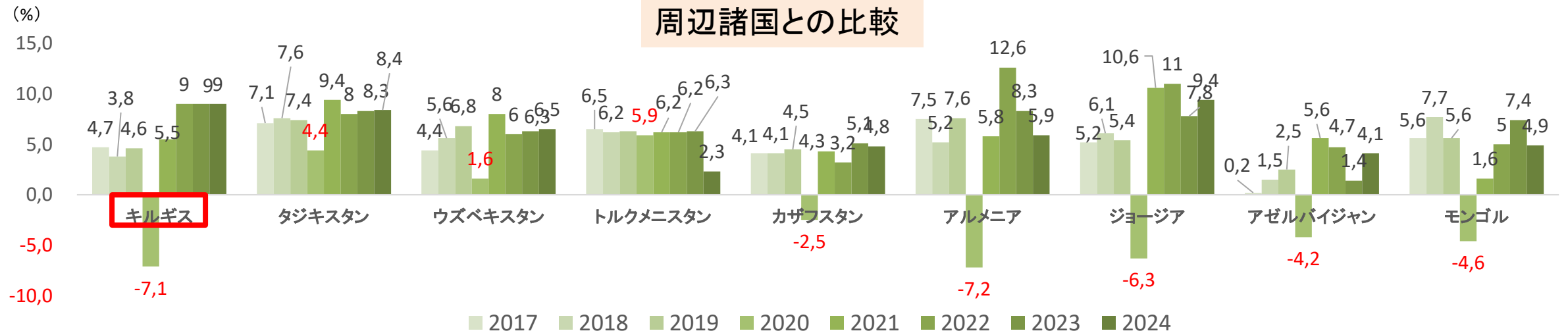
出典:世界銀行(2024年)

2-1 GDP: 実質GDP成長率の推移

キルギス実質GDP成長率(1992年-2024年)

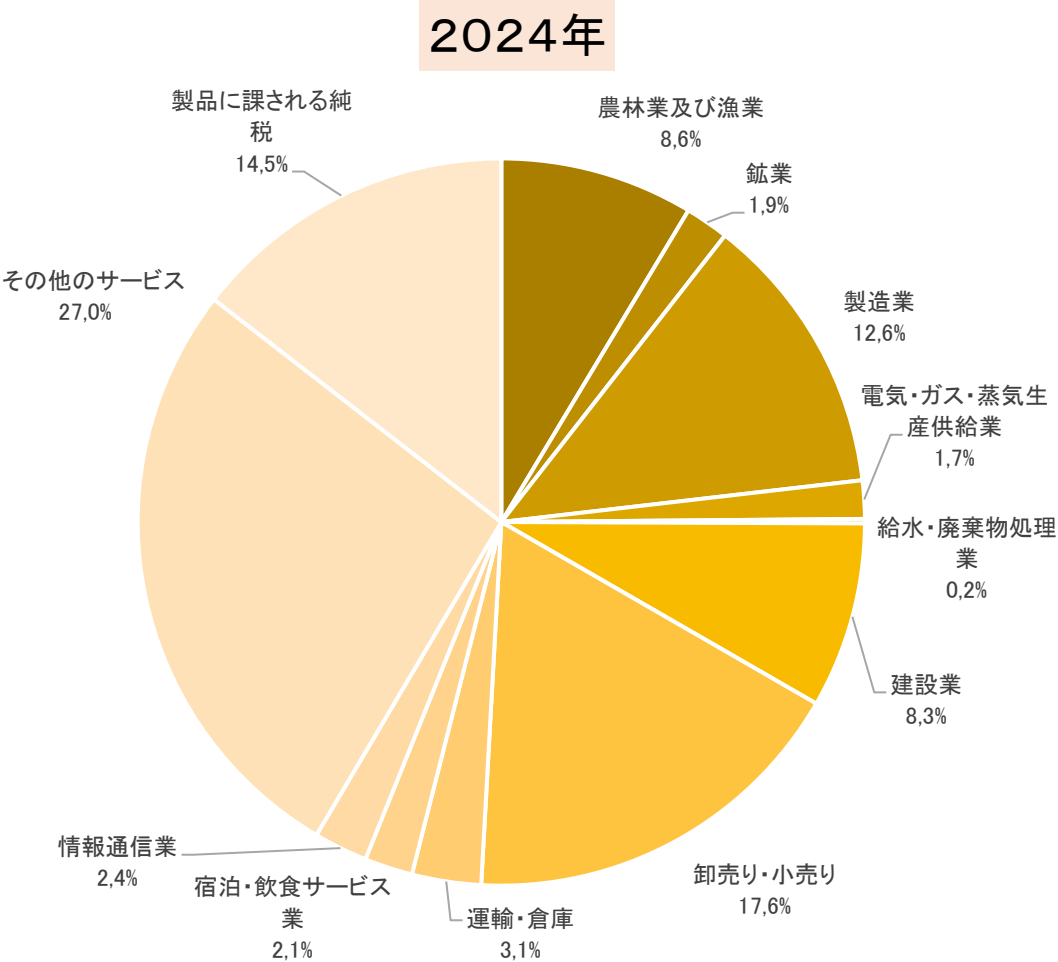


周辺諸国との比較



2-1 GDP: 名目GDPの構成(経済活動別、支出別)

名目GDPの構成(経済活動別)



名目GDPの支出別内訳
(2024年 単位:10億ソム)

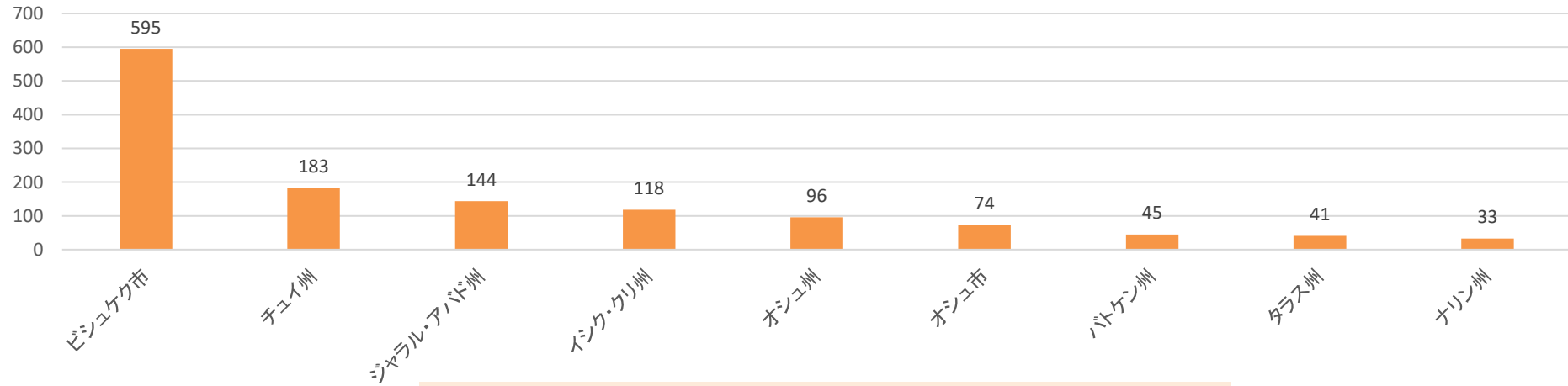
総額	1333	財・サービスの輸出	491
最終消費支出	1390	うち財の輸出	298
個人消費	1287	うちサービスの輸出	193
家計	1167	財・サービスの輸入	-1273
NPISHs対家計民間非営利団体	9	うち財の輸入	-1027
政府支出	110	うちサービスの輸入	-246
集団消費支出	102		
総固定資本形成	293		
在庫変動	165		

- 最終消費支出の個人消費の内訳のうち、政府支出は、政府による支出のうち医療サービスや教育など、個人に資する支出。
- 集団消費支出は、政府による支出のうち水力発電所や国防、運輸インフラなど、集団に資する支出。
- 対家計民間非営利団体とは、学校法人や政治団体、宗教団体など、非市場の財貨やサービスを提供する団体を指す。

2-1 GRP(地方総生産)

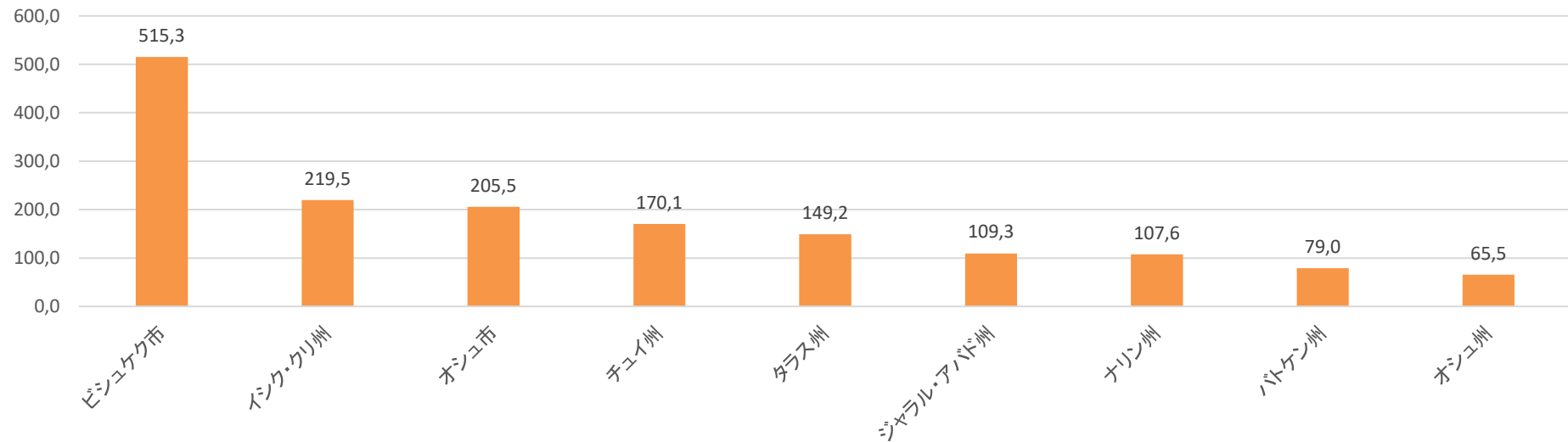
州・特別市別 名目GRP(2023年)

(10億ソム)



州・特別市別 一人あたり名目GRP(2023年)

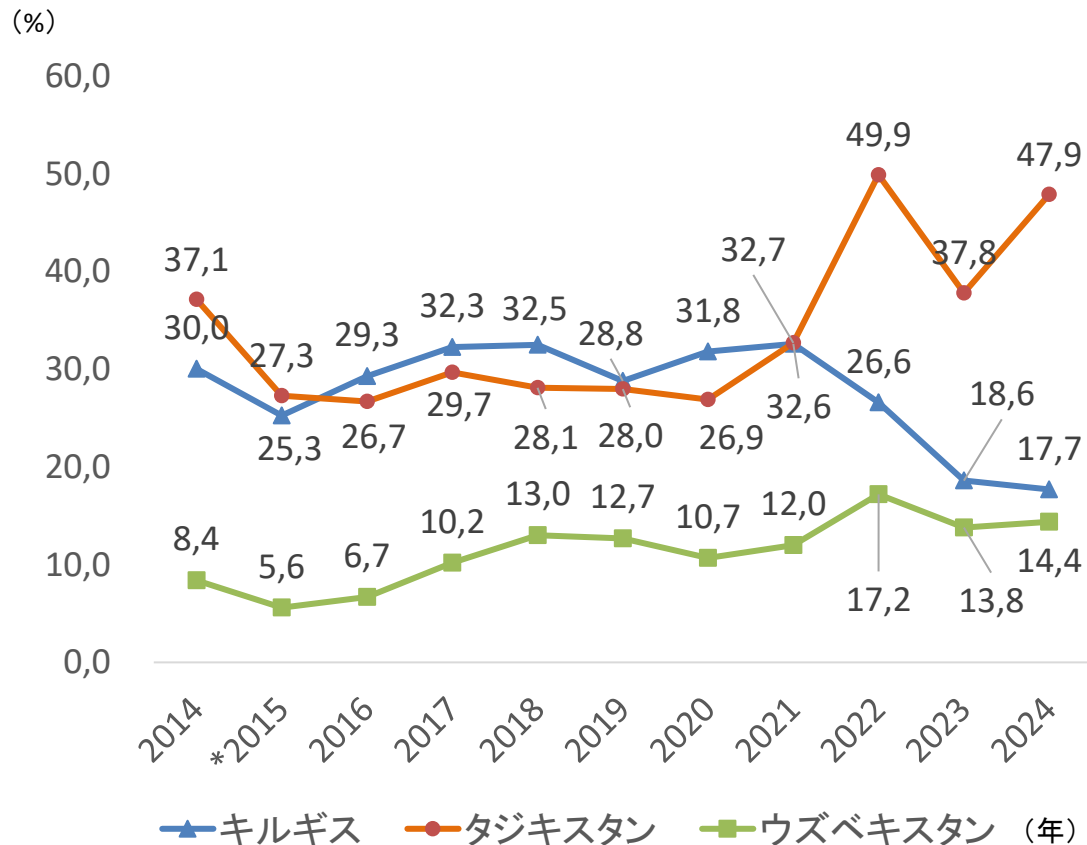
(千ソム)



※国家統計委員会のデータを用いているため、GDPの合計額は世界銀行のデータと差異がある。

2-2 海外からの送金への依存: 中央アジア他国との比較

中央アジア3か国の海外出稼ぎ送金収入の名目GDP比



※2015年、油価大幅下落に伴うロシア国内の景気減退
 ※2022年、ロシアによるウクライナ侵略開始

海外出稼ぎ送金収入名目GDP比 上位5か国
 (単位: %、世銀データによる)

	2021	2022	2023	2024
1	トンガ (41.9)	タジキスタン (49.9)	トンガ (49.9)	タジキスタン (47.9)
2	タジキスタン(32.7)	トンガ (41.9)	タジキスタン (37.8)	トンガ (47.8)
3	キルギス (32.5)	サモア (33.6)	レバノン (33.3)	レバノン (26.6)
4	サモア (29.4)	レバノン (30.7)	サモア (28.2)	サモア (26.4)
5	レバノン (27.4)	ホンジュラス (27.0)	ニカラグア(26.2)	ニカラグア (25.6)

(注) 2022年キルギス6位(26.6)、2023年キルギス15位(18.7)、
 2024年キルギス15位(11.3)

2-2 ロシアへの経済的依存: キルギスの出稼ぎ労働者数の推移

- 中国に次ぐ第2の貿易相手国。
- 出稼ぎ労働者の最大の受け入れ先(GDPの約2割は海外出稼ぎ労働者からの送金)。

キルギスの国外移住者 (2022年)

国外移住者数(千人)	
ロシア	680
カザフスタン	35
ウズベキスタン	5
韓国	6
トルコ	35
北米	26
ドイツ	9
イギリス	3
オーストリア	5
イタリア	6
UAE	5

(注1) 国外移住者数は国連難民高等弁務官事務所が2023年に出したレポートを引用。それによれば移住者数の90~95%が労働目的とされる。

キルギス国内への送金 (2024年)

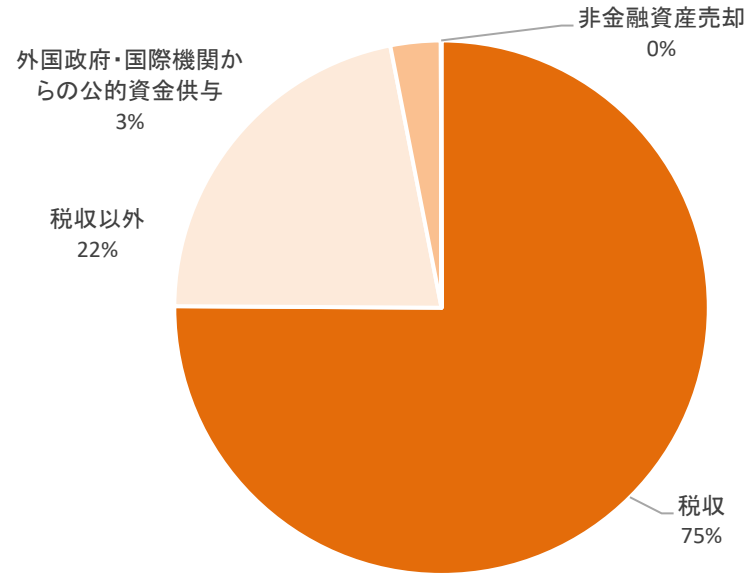
送金額シェア/送金額 (100万米ドル)		
ロシア	93%	2,783.8
カザフスタン	0.2%	6.69
その他CIS諸国	0.5%	14.52
アメリカ	2.0%	62.46
トルコ	0.6%	17.22
その他	1.9%	59.15

(注2)

送金額及びシェアはInternational transactions reporting systemを元とするキルギス国立銀行の統計より算出。

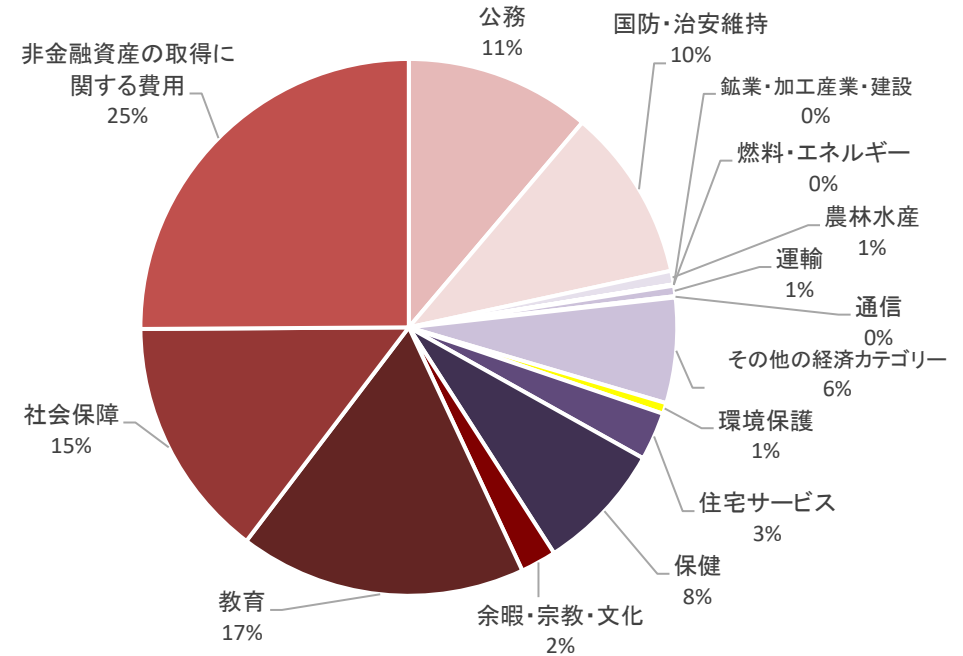
2-3 財政構造：国家財政（歳入／歳出）

2024年当初予算内訳
（歳入：4246億8581万ソム）



※2025年1月22日付「2024年キルギス共和国予算及び2025～26年計画予算に関する」キルギス共和国法においては、2024年の確定予算（決算に相当）は4105億8830万ソム。

2024年当初予算内訳
（歳出：4270億3503万ソム）

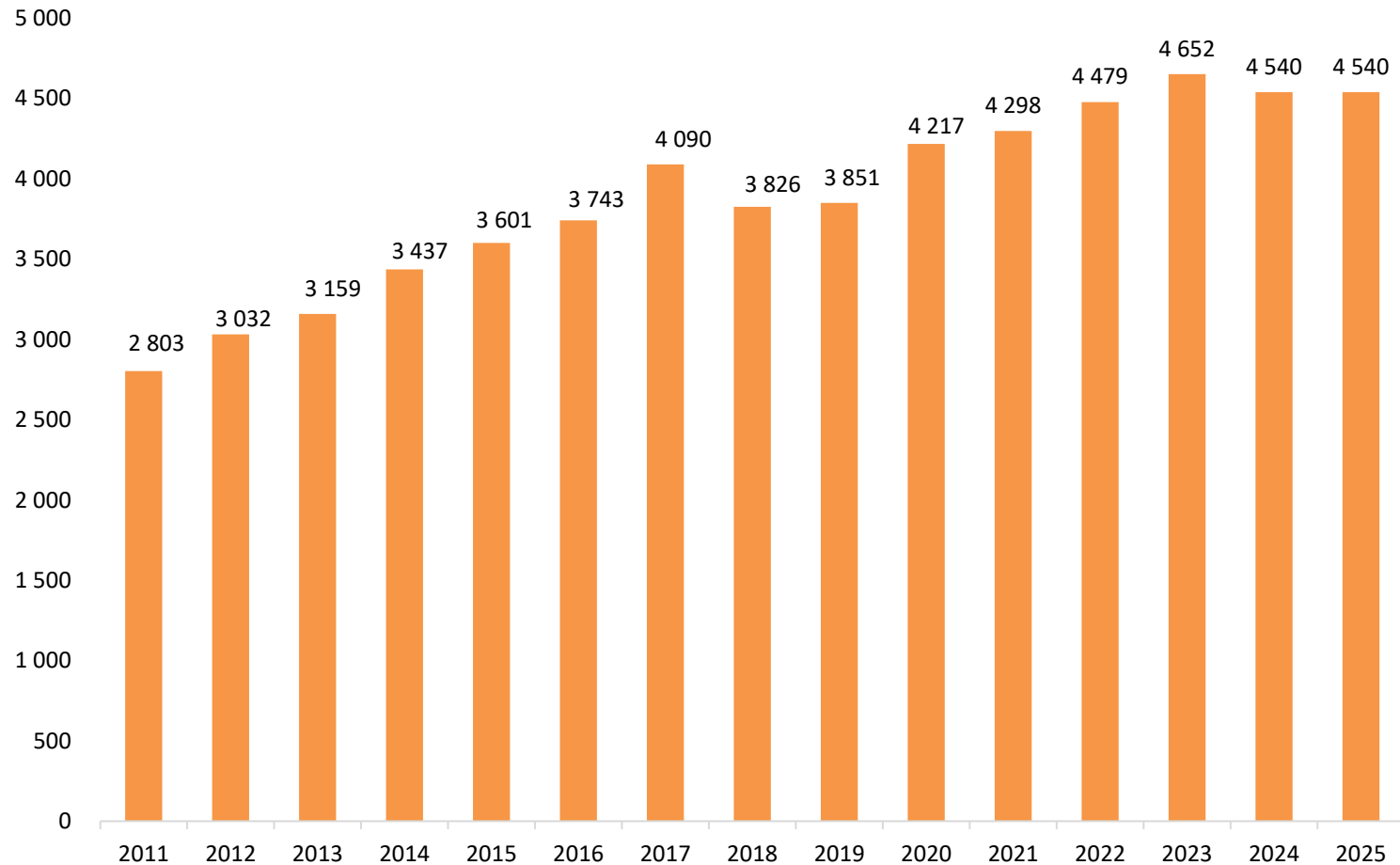


※2025年1月22日付「2024年キルギス共和国予算及び2025～26年計画予算に関する」キルギス共和国法においては、2024年の確定予算（決算に相当）は5186億3150万ソム。

2-3 財政構造：海外資金への依存

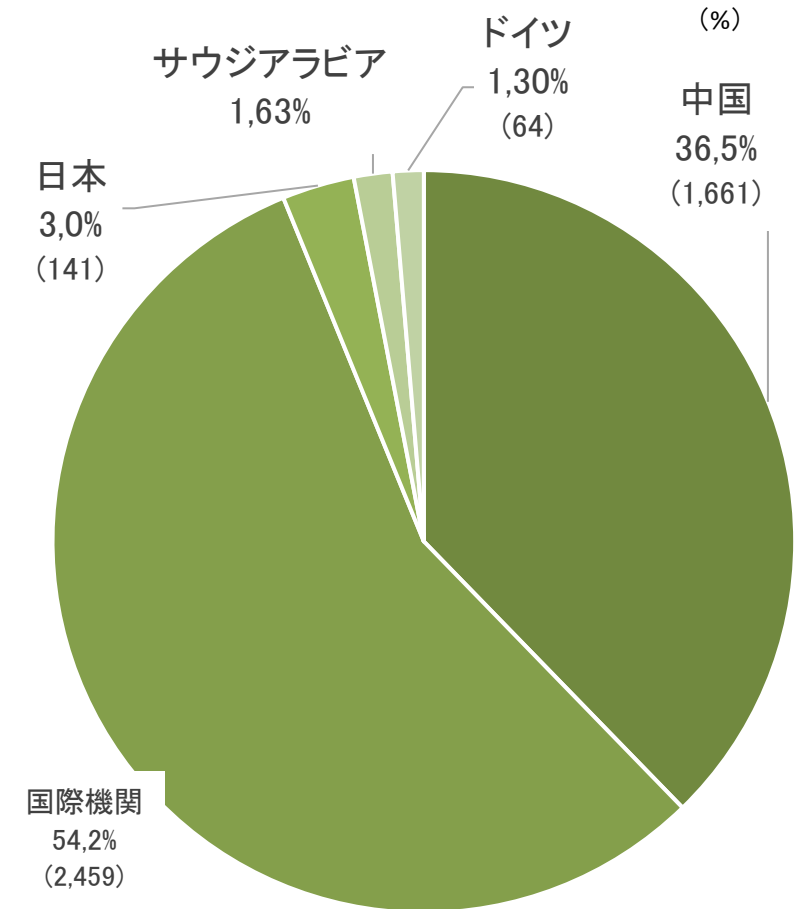
キルギスの対外債務額の推移

(100万米ドル)



■ 対外債務

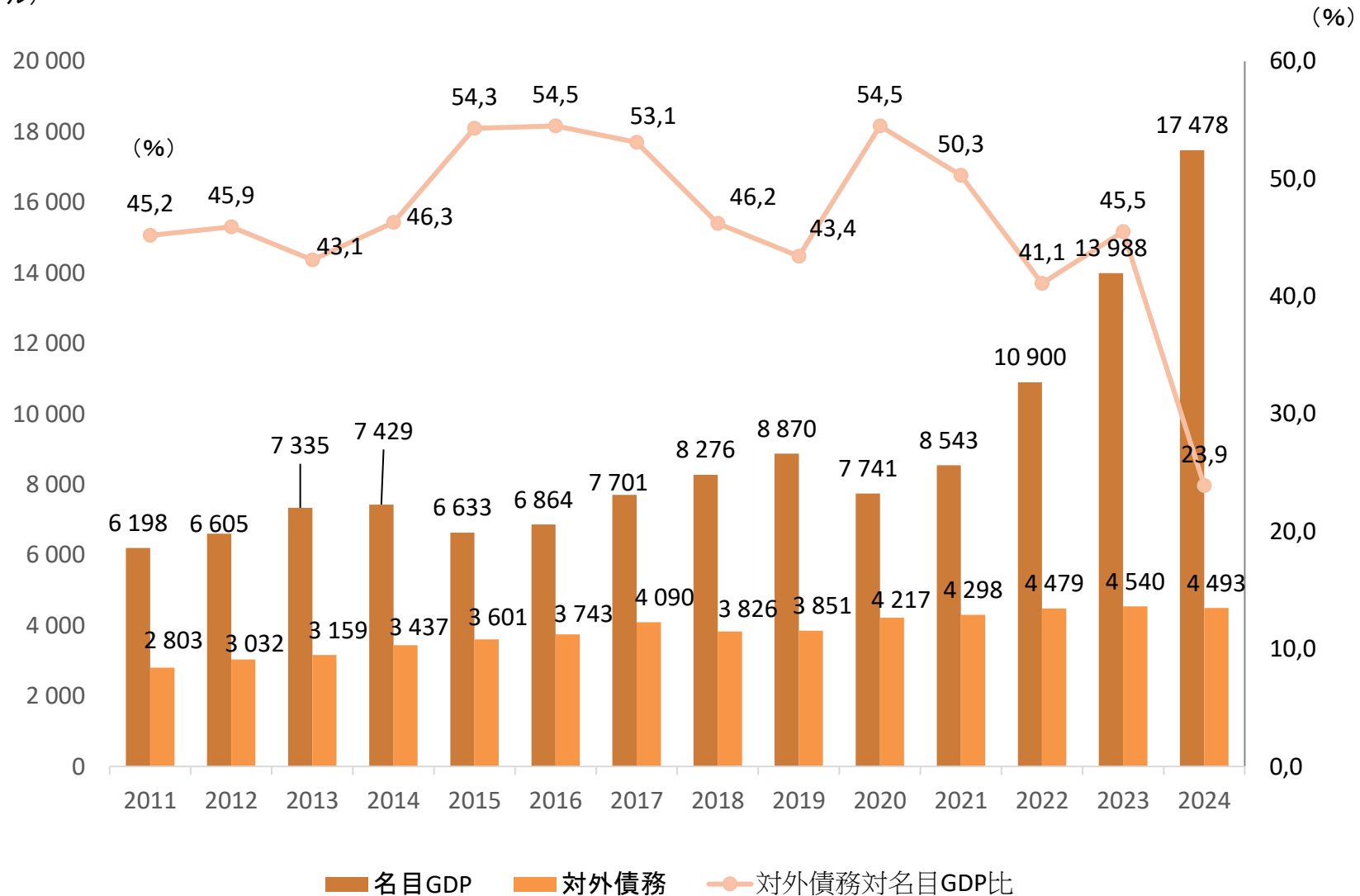
対外債務国別内訳(2025年1月)



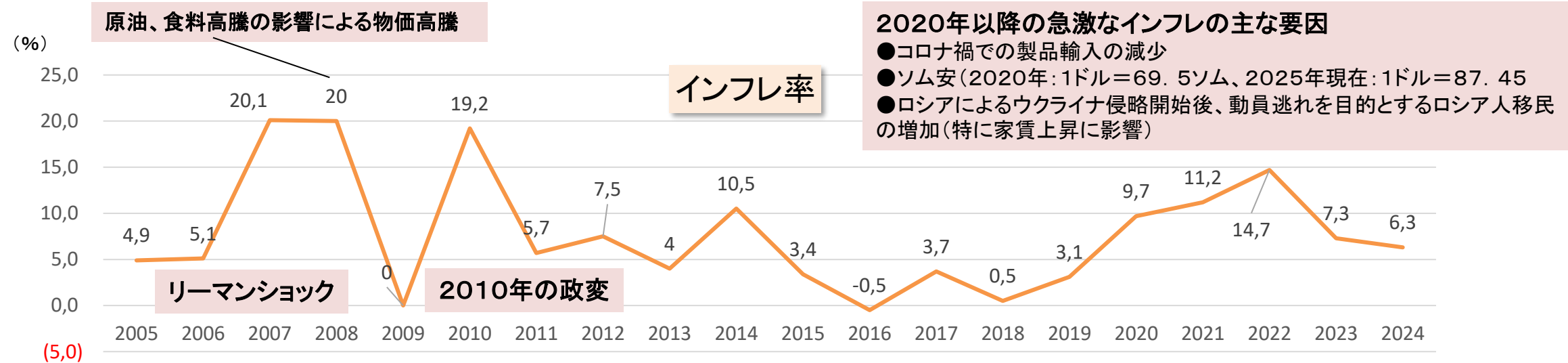
なお、キルギスとロシアは2017年にキルギスの対ロシア債務取消しに関する協定(総額は4億8890万米ドル)に署名。現在に至るまで対ロシア債務は発生していない。

2-3 財政構造：海外資金への依存（対外債務の対GDP比）

(100万米ドル)



2-4 物価・為替・金融政策：物価推移と品目／分野別指数



消費者物価指数 (対前年比)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
食品・飲料 (アルコール飲料除く)	111.7	118.0	116.2	108.4	101.7
衣服・靴	101.7	104.9	109.6	113.9	107.6
住居・公共料金	103.5	105.4	106.3	111.7	110.4
耐久財・家庭用品	101.8	107.1	116.9	117.7	104.2
ヘルスケア	104.5	110.4	110.2	121.8	108.6
輸送	97.9	117.5	120.1	104.4	109.6
通信	100.0	100.2	100.0	103.7	102.8
娯楽・文化	101.2	105.9	114.7	110.7	105.1
教育	101.7	103.0	106.3	110.0	109.4

2-4 物価・為替・金融政策:通貨政策

キルギスソムの対米ドルレート

(注)キルギス・ソムは「管理フロート制」を採っているが、実質的には「米ドル・ペッグ制」



政策金利

(注)日毎の統計



2-5 主要産業の概要

キルギスの産業概観

- 主要産業別のGDP比は農林水産業が8.6%、製造業が12.6%、卸売・小売が17.6%(2024年)。
- 農畜産業は、2001年にはGDPの34.8%を占めていたが、その割合は継続的に減少。工業及びサービス業のGDP比率が増加。

キルギスの産業振興における課題

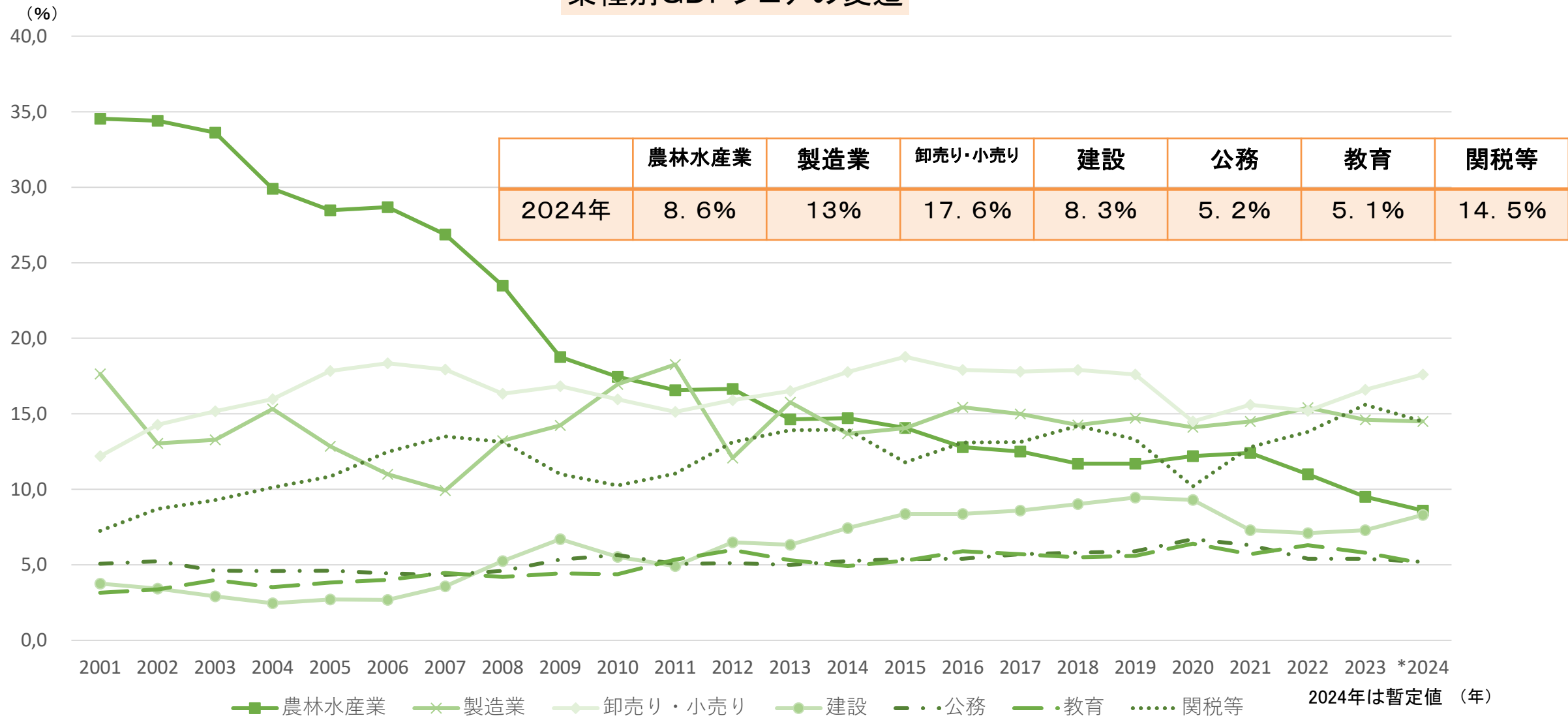
- 旧ソ連崩壊後キルギスの産業は、①ソ連時代の共和国分業制に基づくサプライチェーンの崩壊、②ロシア人技術者の大量出国、③かつてのソ連中央政府からの投資の喪失、等の要因により大きく衰退した。
- 独立後のキルギス経済は、中国から輸入した食料品及び化学繊維製品のロシア、カザフスタンへの再輸出等の中継貿易、ロシアへの出稼ぎ労働者からの仕送り(Remittance)によって収入を得てきた一方、自国内の産業振興については政策として十分に取組みられてこなかった。
- 鉱業部門の金採掘及び農畜産業以外の有力な産業が存在せず、国内の雇用機会が不足している。
- 金採掘と出稼ぎ送金に頼る経済体制は、資源の国際市況や出稼ぎ先の景気状況、移民政策に左右されるという脆弱性を抱えており、自国内に基幹産業を育成することが喫緊の課題。

キルギス政府の政策

- 2018年11月に策定された「国家発展戦略2018～2040年」では、行政改革や国家のデジタル化の推進の必要性が指摘され、優先産業として畜産業を含む農業・農加工業、軽工業、観光業の持続的発展が挙げられた。
- 2025年6月、上記国家発展戦略で掲げられた主な数値目標が既に達成されたとして、新たに「2030年までの国家開発プログラム」が策定され、ジャパロフ大統領が署名。本プログラムにおいて、中小企業支援や国内での雇用機会の創出を重点目標として掲げている。
- 具体的な指標として失業率5%、貧困率20%までの低下を掲げているほか、国外へ出稼ぎに出る労働者への就職支援制度の整備についても規定。また、国外に出稼ぎに出た国民が、帰国後に社会に再統合し、外国で得たスキルを国内での就労に活かすことができるよう、国がサポートを行う体制の整備にも取り組んでいる。

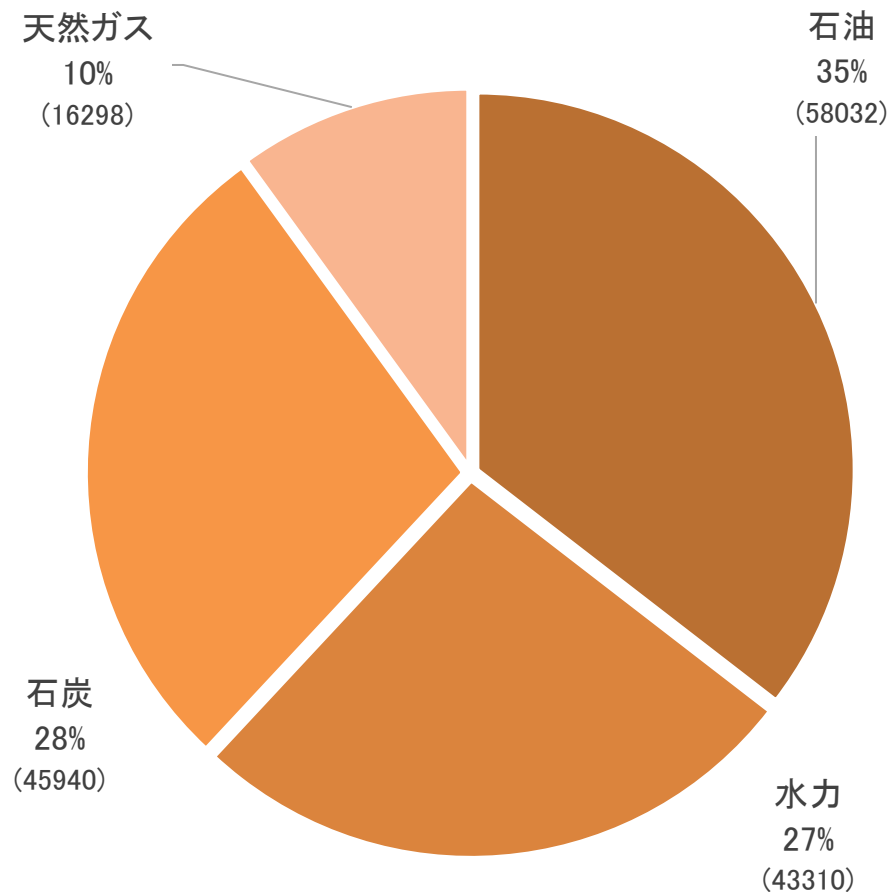
2-5 主要産業の概要:主要産業の推移

業種別GDPシェアの変遷

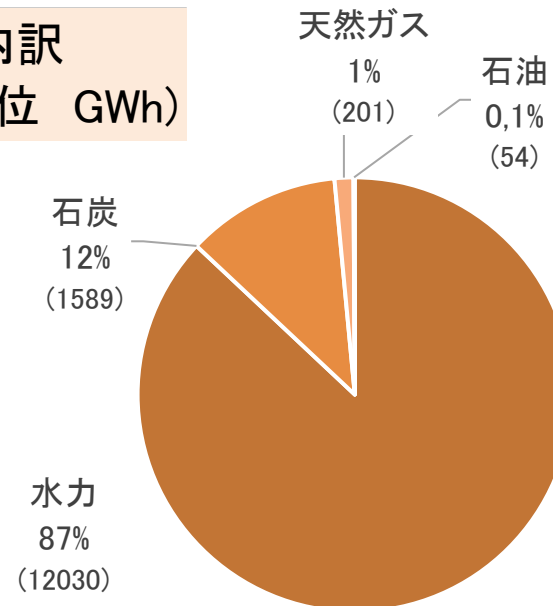


2-5 主要産業の概観:エネルギー産業

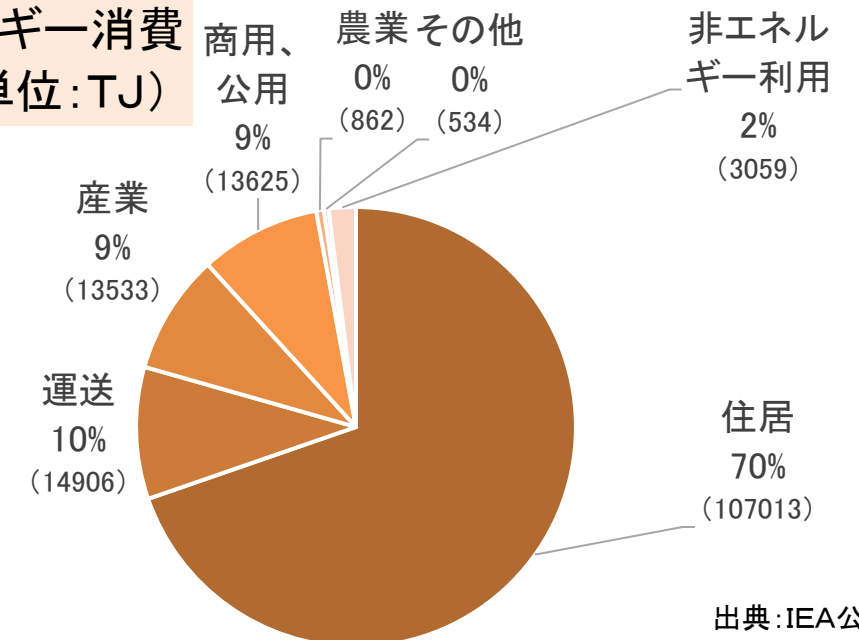
エネルギー供給内訳
(2023年 単位:TJ)



発電量内訳
(2023年 単位 GWh)

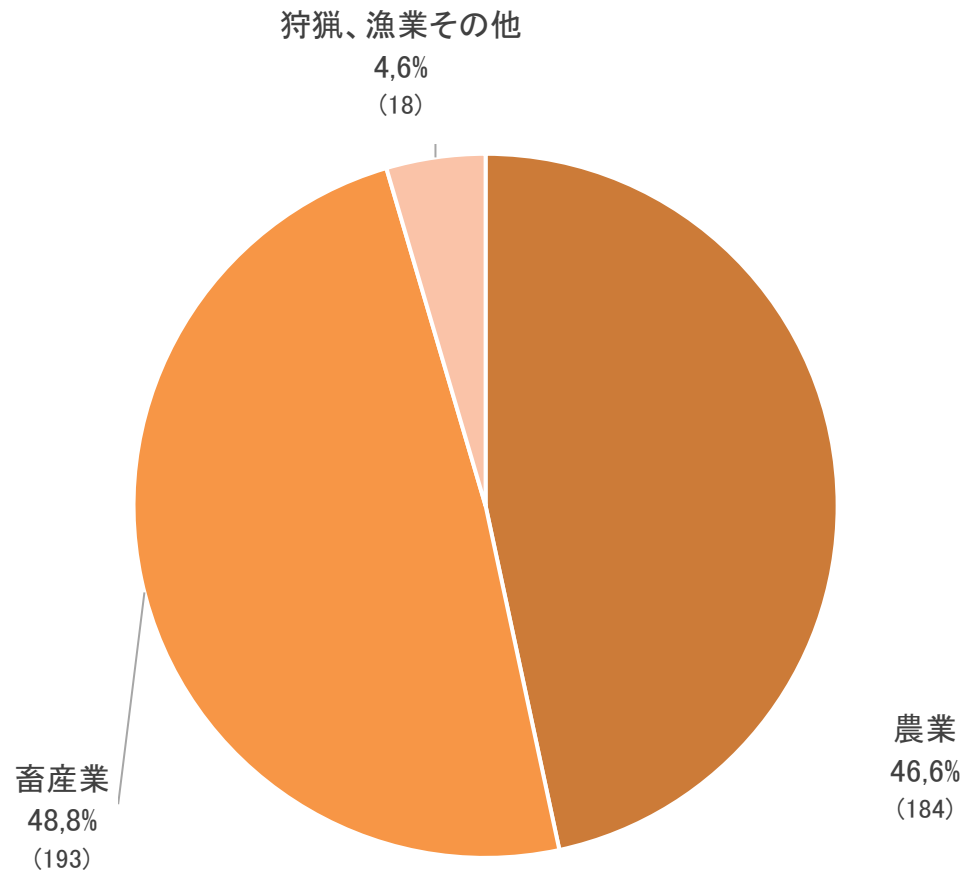


部門別エネルギー消費
(2023年 単位:TJ)

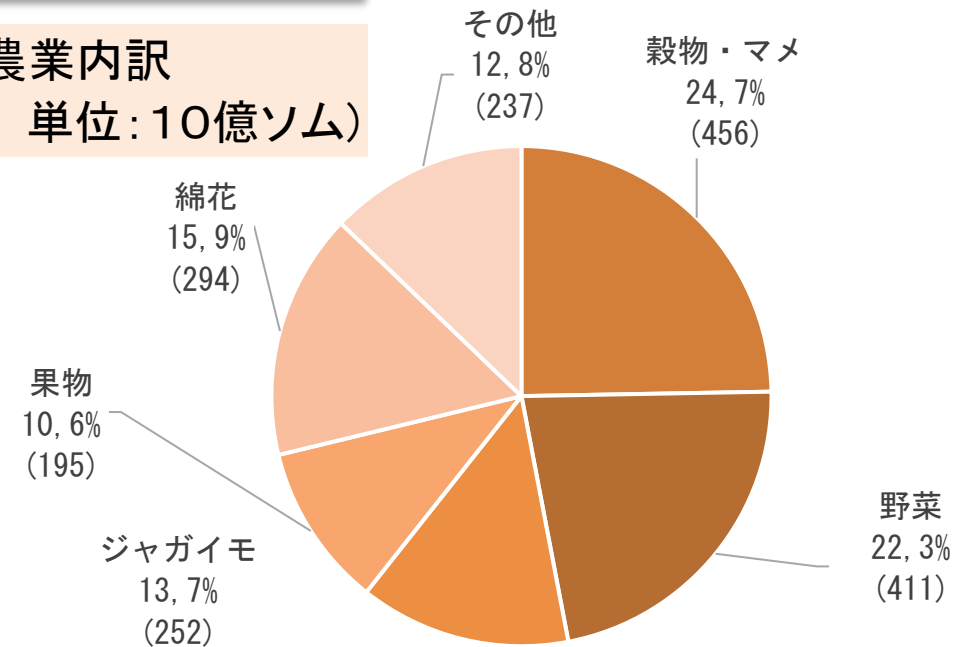


2-5 主要産業の概要：農畜産業

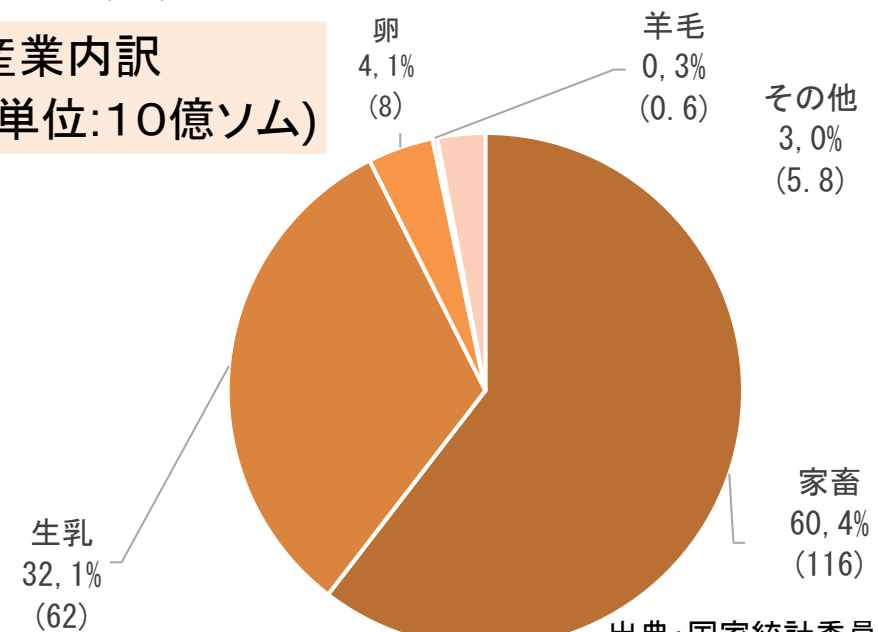
農畜産業の生産額内訳
(2024年 単位:10億ソム)
総生産額 3956億ソム



農業内訳
(2024年 単位:10億ソム)

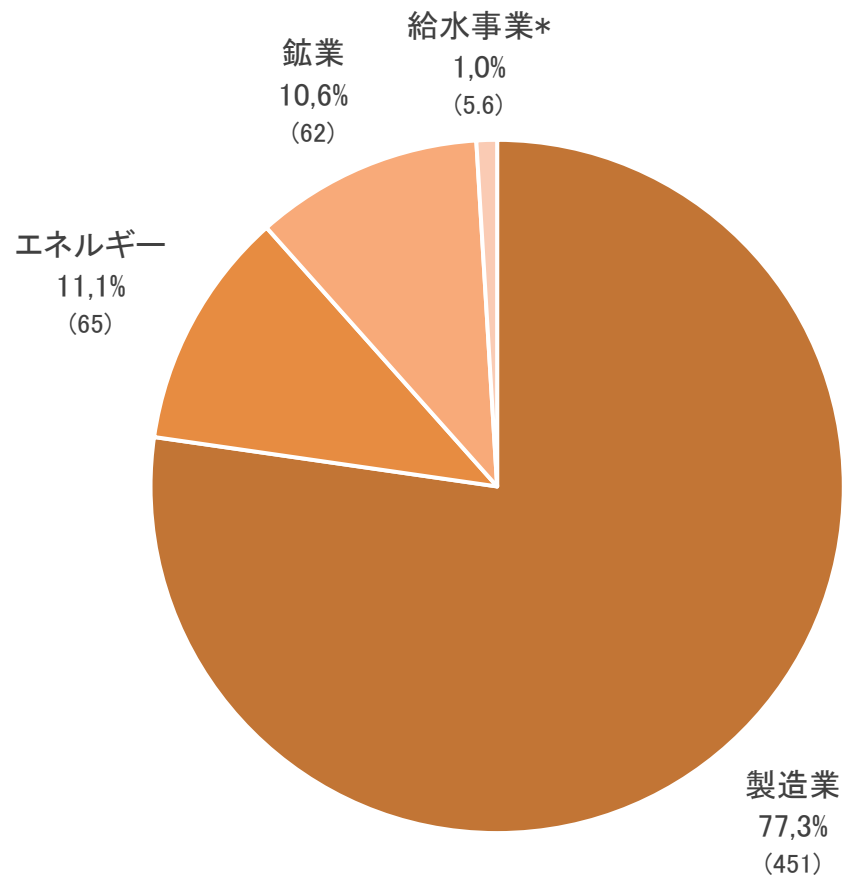


畜産業内訳
(2024年 単位:10億ソム)



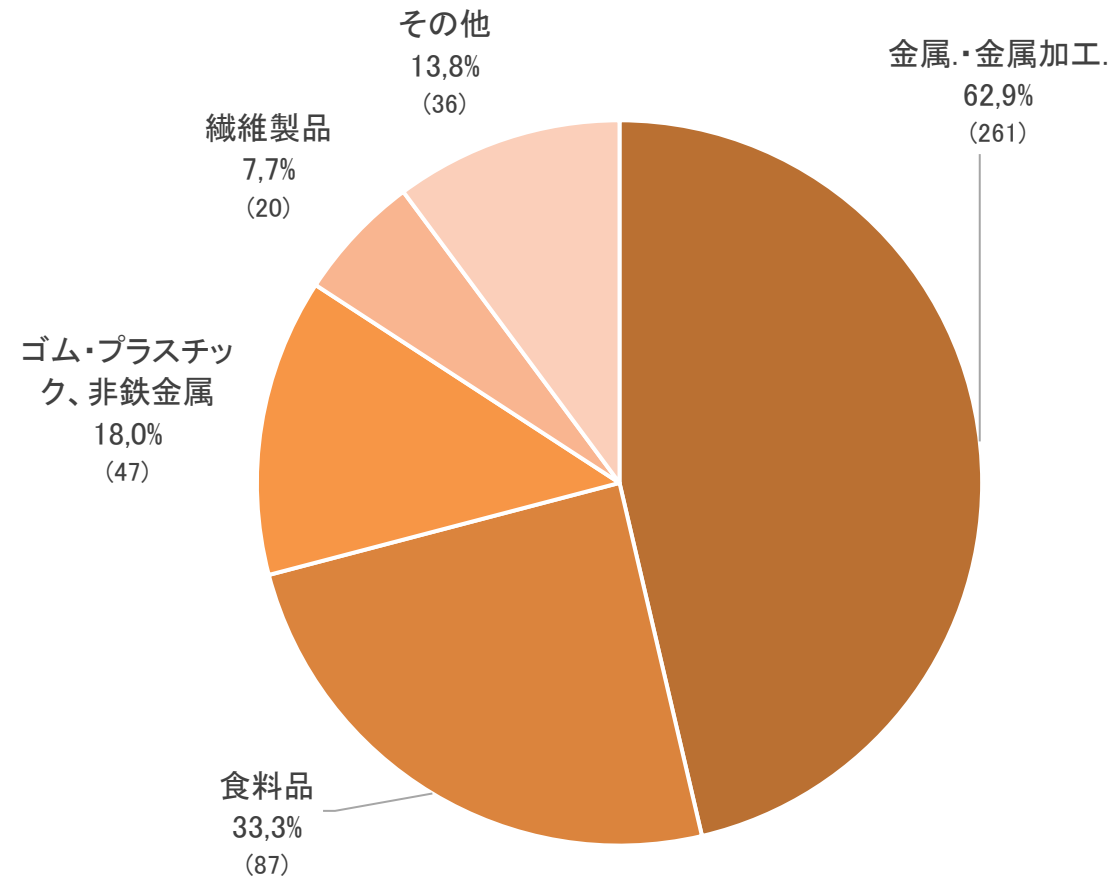
2-5 主要産業の概要：工業

工業の分野別内訳
(2024年 単位：10億ソム)
総生産額：5852億ソム

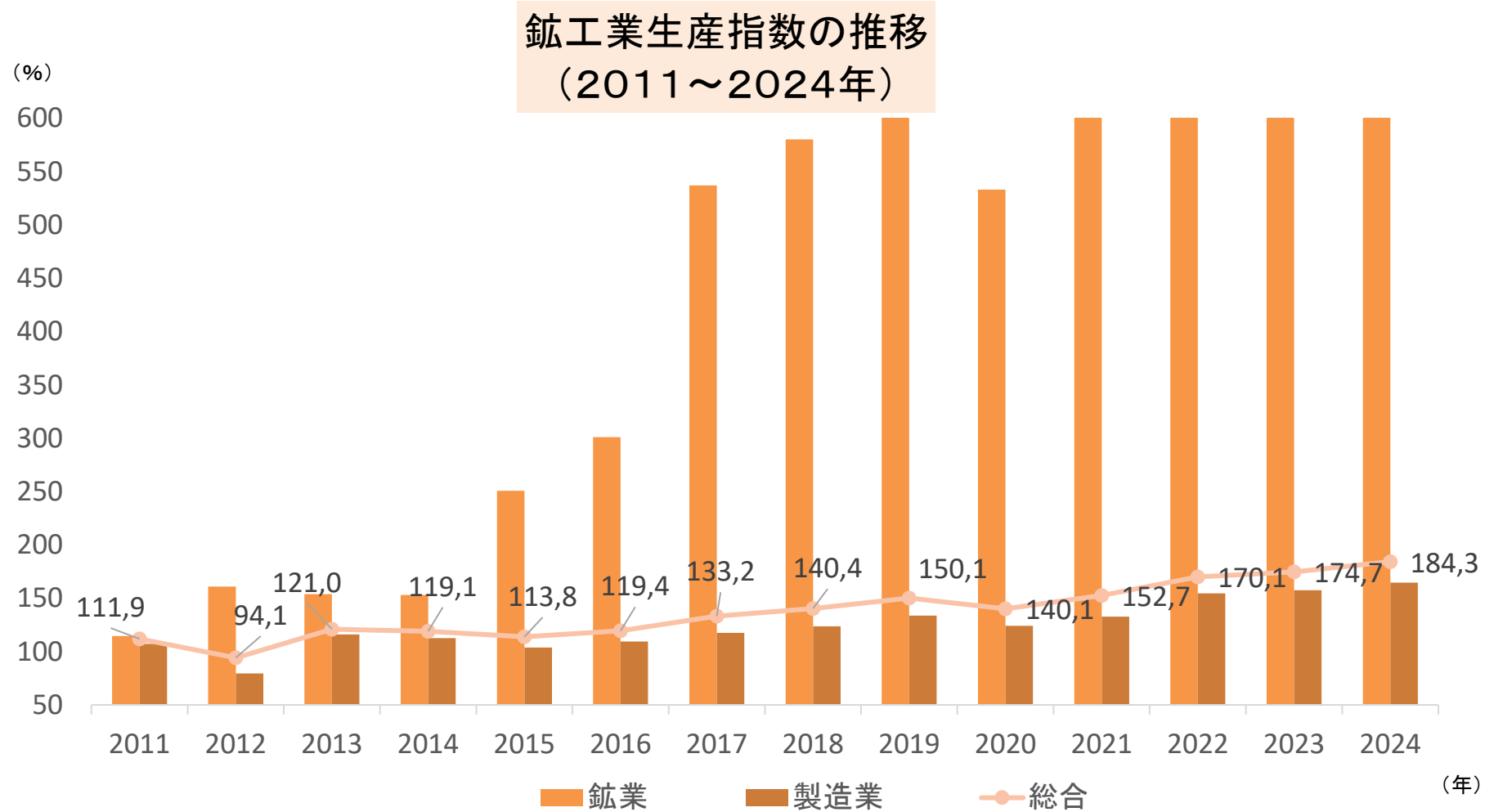


注：給水事業は配水、水質管理などの業種を指す。

製造業分野内訳
(2024年 単位：10億ソム)



2-5 主要産業の概要: 鉱工業



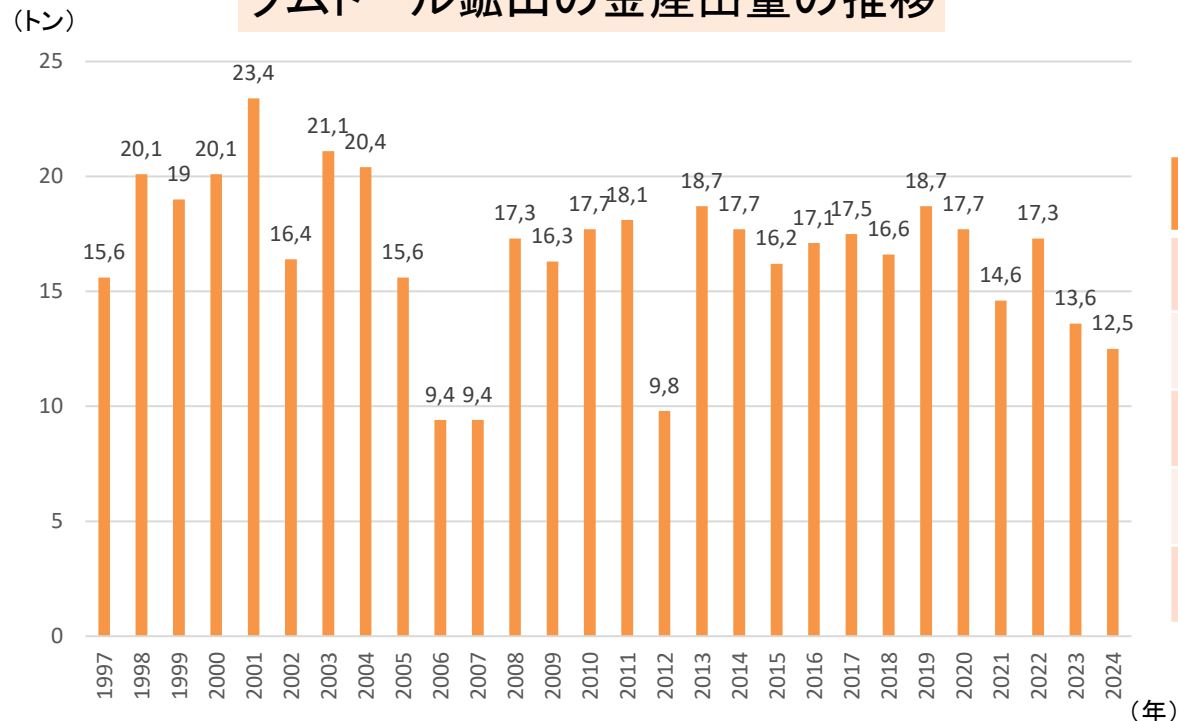
(注) 2010年=100とし、国家統計委員会のデータを元に算出

2-5 主要産業の概要: 鉱工業(クムトール金鉱山)

- キルギスの金生産の97%を占める
- GDPに占める割合: 9% (2023年時点)
- 税として納めた額: 170億ソム (2023年)
- 輸出額に占める金輸出額: 10億2843万米ドル(2023年)
- 1992年にキルギス政府とカナダ企業CAMECO社が「Kumtor Gold Company」(KGC)社を設立。KGC社が採掘権を有し、採掘、精錬、地質調査を行う。その後KGC社の株式はすべてCenterra Gold社に移り、同社は2004年にトロント株式市場に上場。2022年4月に公開株式会社「Kyrgyzaltyn」に100%の株式が譲渡され、同年8月、キルギス政府が唯一の所有者となった。



クムトール金鉱山の金産出量の推移



金の産出量世界トップ5

	国名	産出量(トン)
1位	中国	380. 2
2位	ロシア	330. 0
3位	豪州	284. 0
4位	カナダ	202. 1
5位	米国	158. 0

金の販売量世界トップ5

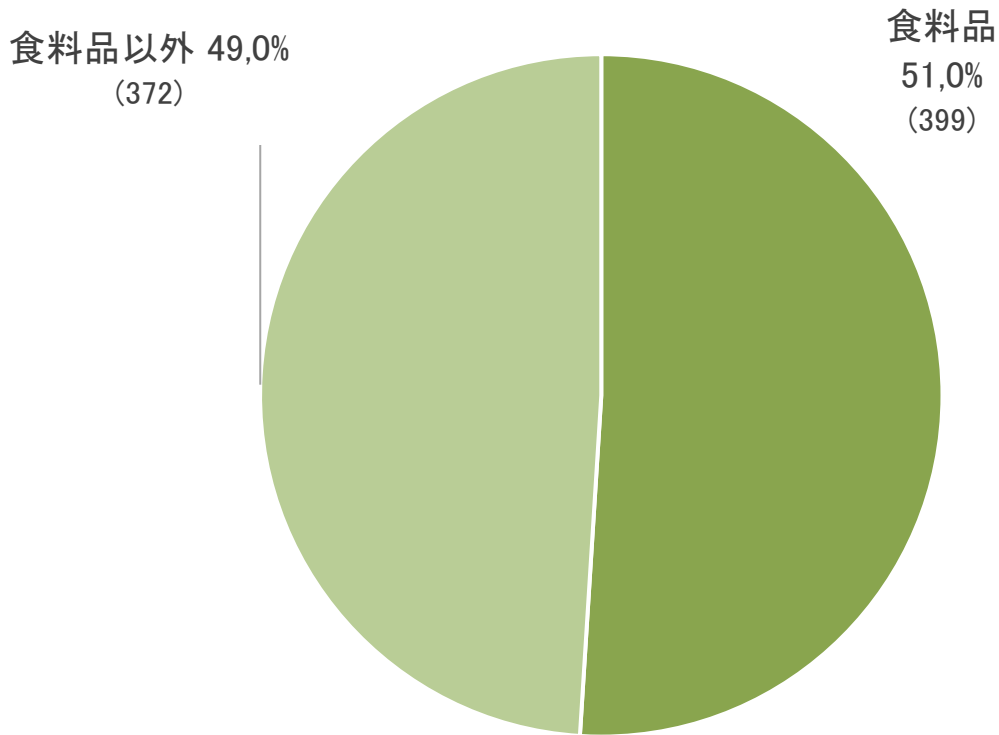
	国名	販売量(トン)
1位	ウズベキスタン	14. 93
2位	シンガポール	4. 85
3位	キルギス	3. 85
4位	独	0. 25
5位	モンゴル	0. 22

※産出量データ: 2024年

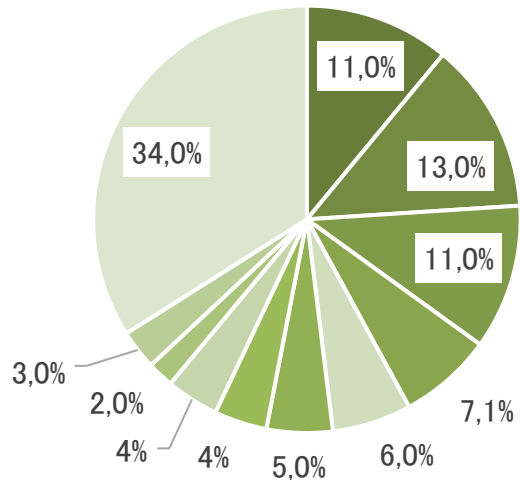
※販売量データ: 2025年第一四半期

2-5 主要産業の概要：小売業

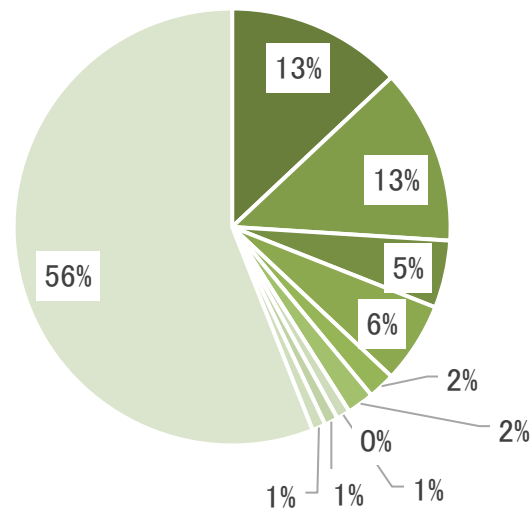
小売業品目別販売額
(2023年 単位：10億ソム)
総生産額7719億ソム



食料品内訳
(2023年 単位：10億ソム)



食料品以外内訳
(2023年 単位：10億ソム)



- 肉, 肉製品(45)
- 小麦粉(53)
- パン類(42)
- アルコール飲料(26)
- 野菜, 果実(22.1)
- 牛乳, 乳製品(19)
- ノンアルコール飲料(15.9)
- 砂糖(16)
- 菓子類(10)
- マカロニ等パスタ類(13)
- その他(137)
- 建設資材(48)
- 自動車(50)
- 衣服(17)
- 靴(22)
- ニットウェア(7)
- たばこ製品(6)
- 家具(3.7)
- 陶器類(4.6)
- 靴下(4.1)
- 織物(3)
- その他(207)

2-5 主要産業の概要: 中小企業

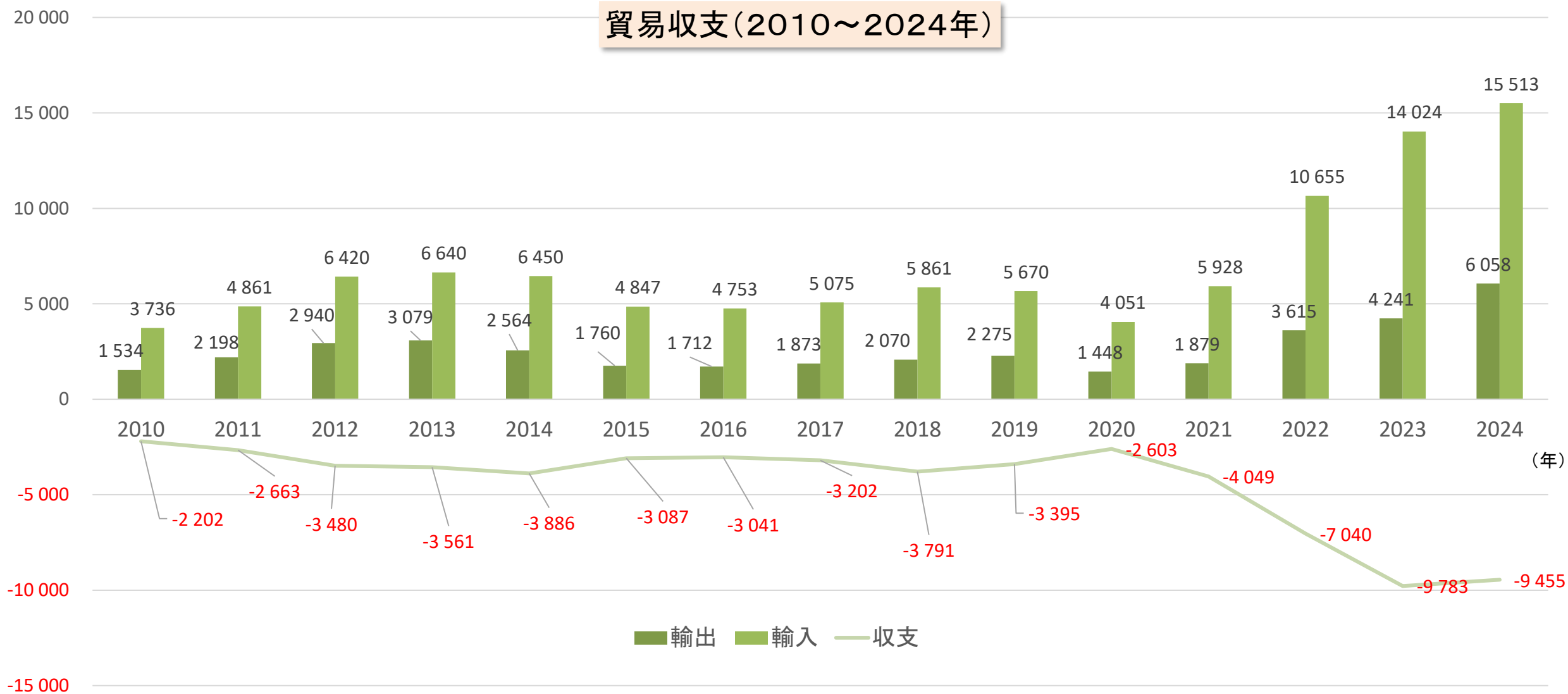
(2023年)

分類	事業者数	雇用者数 (千人)	全雇用者数に 占める割合 (%)	総付加価値 (単位: 100万ソム)	GDPに 占める割合 (%)
小企業	19,245	67.5	2.5	116,944	9.5
中規模企業	928	38.7	1.5	75,024	6.1
個人事業	459,191	459.2	17.3	238,456	19.4
農家 (農業関連企業を 含む)	486,940	N/A	N/A	58,193	5.5

※当地における小規模企業、中規模企業の区分は以下のとおり。
小企業: 従業員50人以下 (※1 農林水産業、鉱業、工業、ガス水道電力、建設業)
又は15人以下 (※2 貿易、小売り、ホテル及び飲食店、運輸、通信、金融、不動産、教育、保健、社会サービス、インフラ)
中規模企業: 従業員51～200人
又は16～50人

2-6 貿易：輸出入総額・貿易赤字の推移

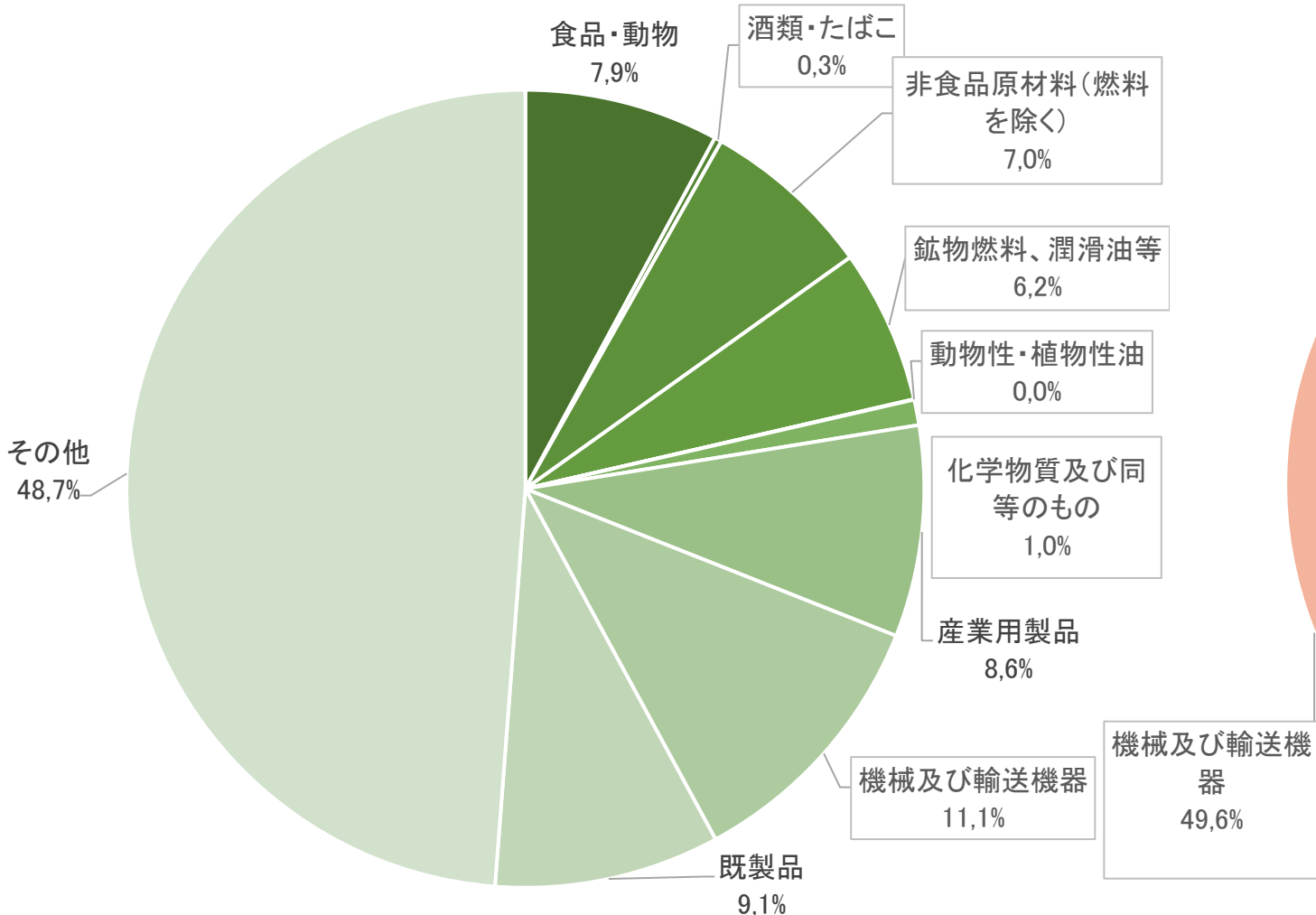
(100万米ドル)



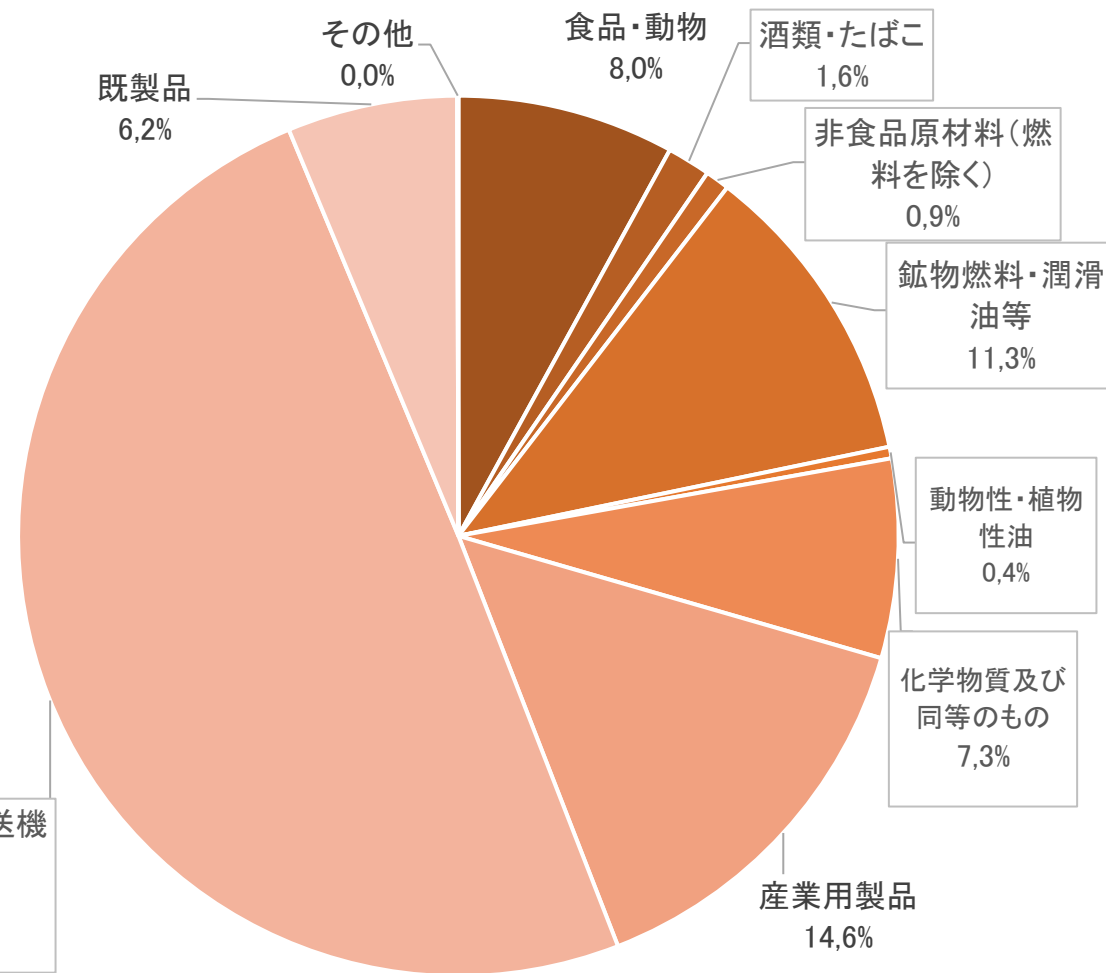
出典: UNCTAD(2024年)

2-6 貿易：品目別輸出入額

品目別輸出額
(2024年 単位:100万米ドル)
総額:51億4174万米ドル

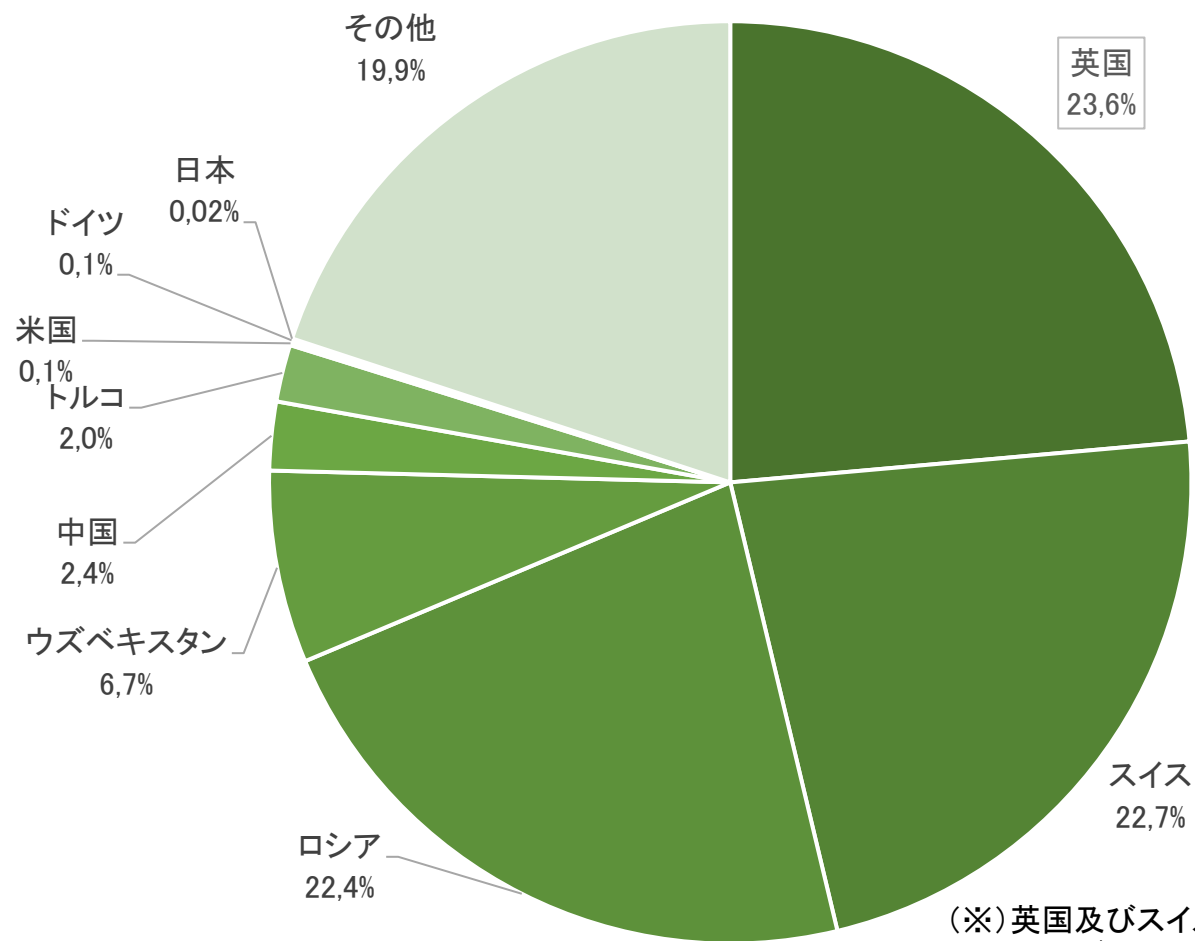


品目別輸入額
(2024年 単位:100万米ドル)
総額:124億8926万米ドル



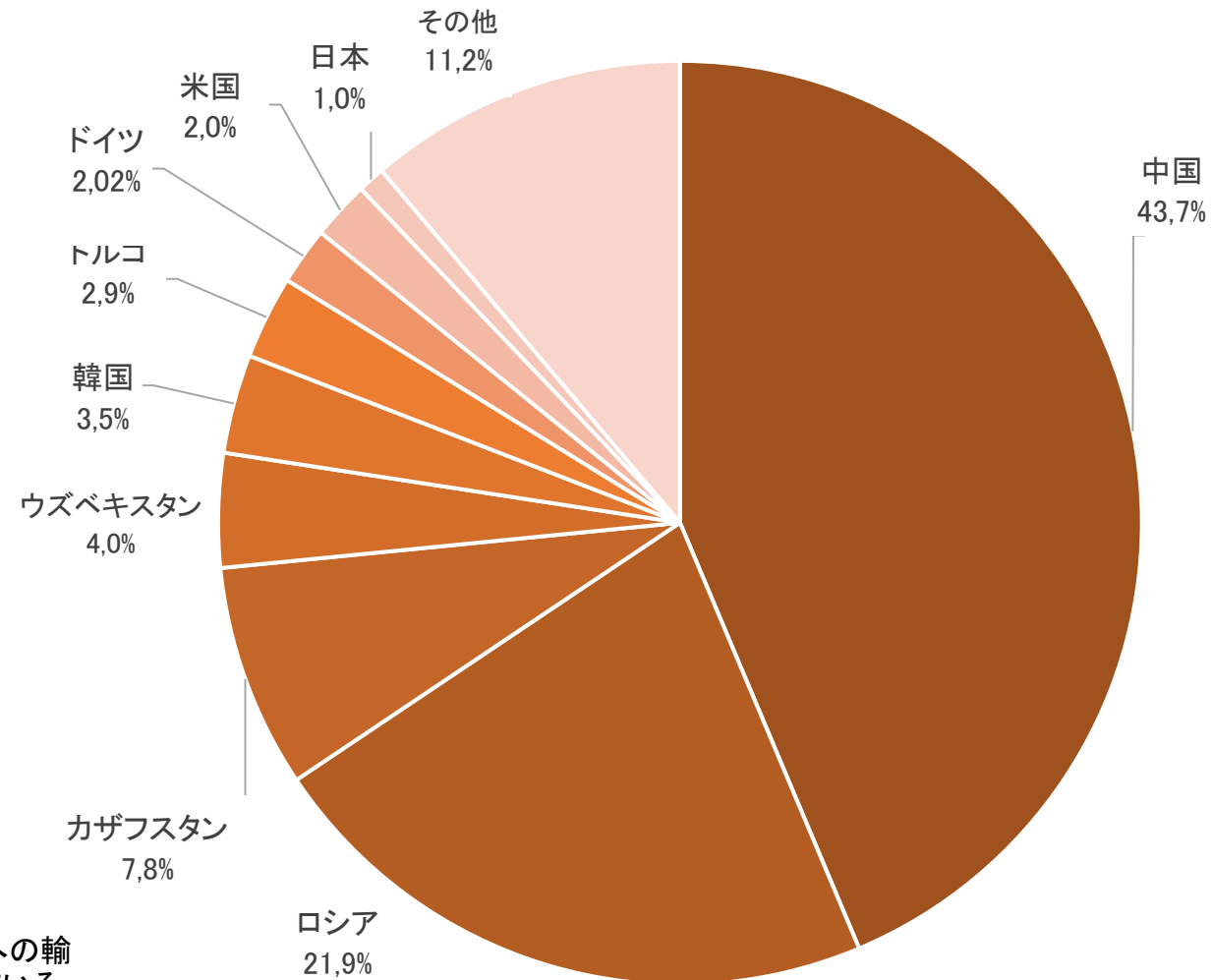
2-6 貿易：国別輸出入額

国別輸出額
(2024年 単位:100万米ドル)
総額:51億4174万米ドル



(※) 英国及びスイスへの輸出品はほぼ金となっている。

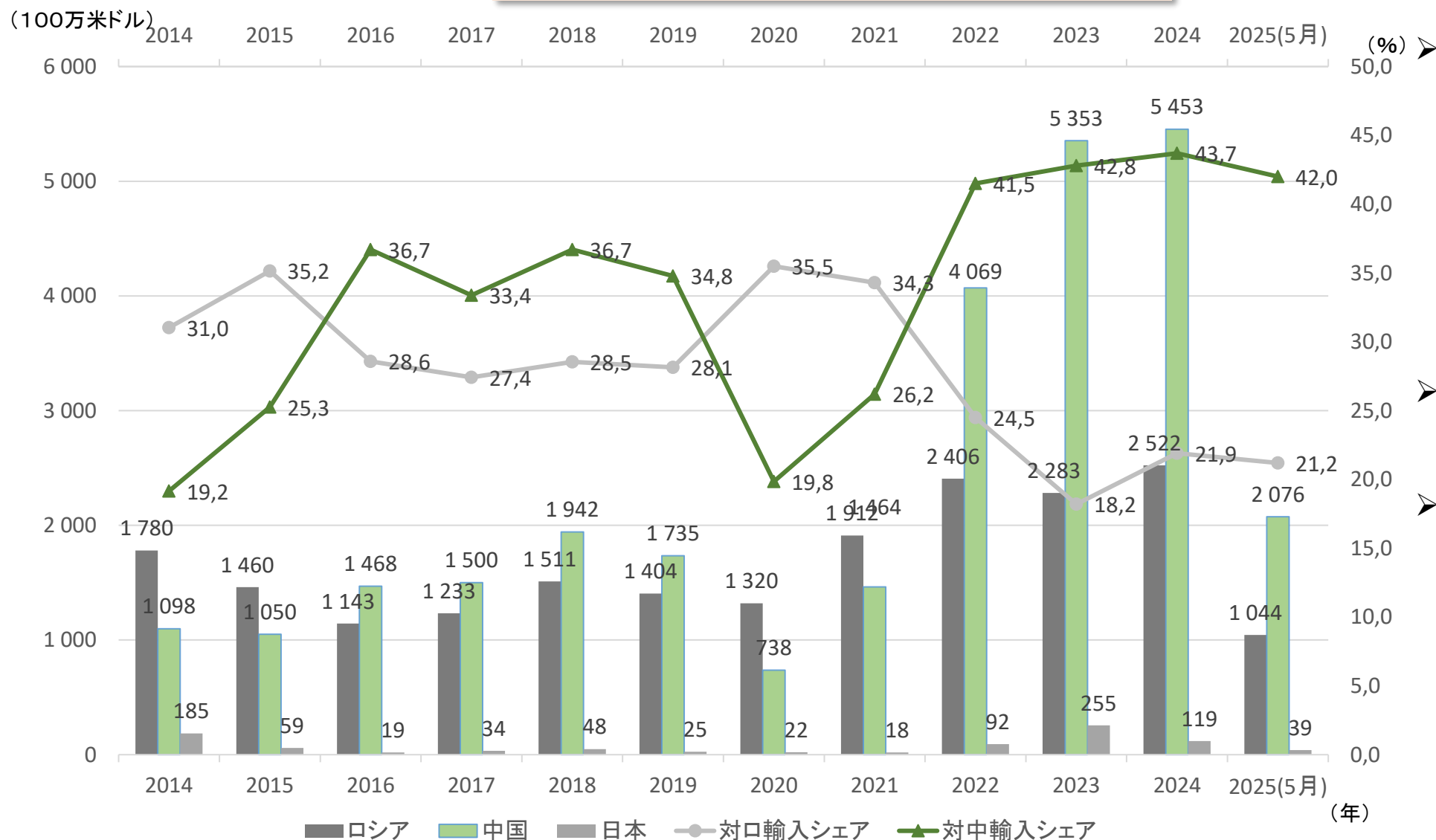
国別輸入額
(2024年 単位:100万米ドル)
総額124億8926万米ドル



出典: 国家統計委員会(2024年)

2-7 中国への経済依存:輸入依存度

中露両国からの輸入額・シェアの推移



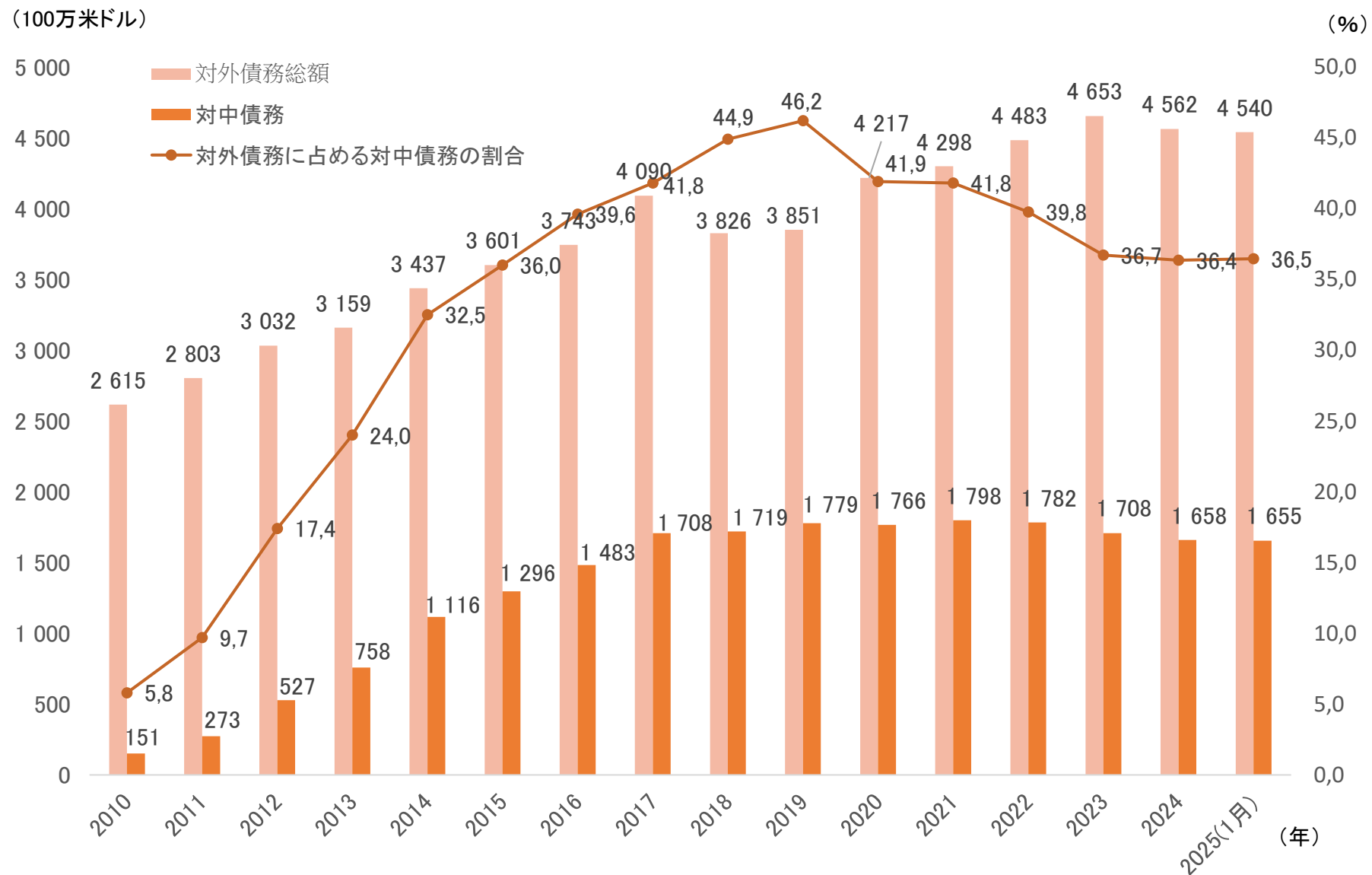
➤ 2015～16年にかけての油価の下落により、対ロシア輸入が減少。

例: 自動車用ガソリン輸入額 (2015年は3億5383万ドル、2016年は1億8001万ドルでいずれも対露輸入額第一位)

➤ 2016年に中露の輸入額が逆転。

➤ 2020年、ロシアが再び1位になるも、2022年以降は中国がロシアを大きく引き離す形で推移。

2-7 中国への経済依存: 対中債務



2-7 中国への経済依存: 参考①最近の主な要人往来・首脳会談

「中央アジア+中国」フォーマット

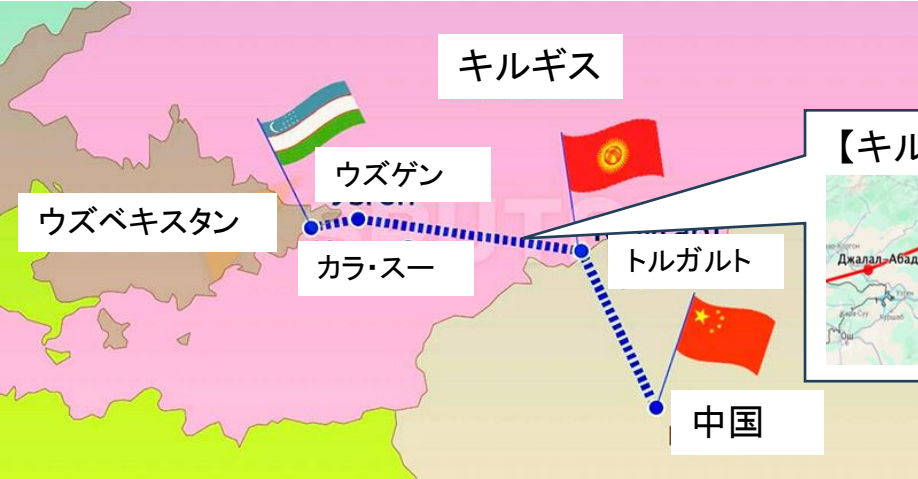
第1回首脳会合 (ジャパロフ大統領)	2023年5月18～ 19日(於: 西安)	ジャパロフ大統領 は中国を初めて 国賓訪問。首脳 会合のフリンジで 習近平国家主席 の会談を実施。
第5回外相会合 (クルバエフ外務大臣)	2024年12月1日 (於: 成都)	共同宣言に署名。 外相会合のフリン ジで王毅外交部 長の会談を実施。
第2回首脳会合 (ジャパロフ大統領)	2025年6月17日 (於: アスタナ)	アスタナ宣言及 び6か国間の恒 久的善隣友好協 力条約に署名。 首脳会合のフリン ジで習近平国家 主席との会談を 実施。

二国間での要人往来・首脳会談

アキルベク・ジャパロ フ内閣議長(当時)の 訪中	2023年 9月	新疆ウイグル地区を実務訪 問し、「キルギス・中国ビジ ネスフォーラム」に出席。
李強国务院総理のキ ルギス訪問	2023年 10月	アキルベク・ジャパロフ内閣 議長(当時)、ジャパロフ大 統領と会談。
ジャパロフ大統領の 中国国賓訪問	2025年 2月	習近平国家主席、李強国 務院総理と会談。「新たな 時代における包括的・戦略 的パートナーシップの深化 に関する共同宣言」に署名。
ジャパロフ大統領の 中国実務訪問	2025年 9月	上海協力機構首脳会合の ほか、抗日戦勝80周年記 念大会に出席。習近平国家 主席と会談。

各訪問・会談の結果、中国との間で多くの二国
間・多国間文書が署名されている。

2-7 中国への経済依存: 参考②「中国・キルギス・ウズベキスタン鉄道」



「中国・キルギス・ウズベキスタン鉄道」概要

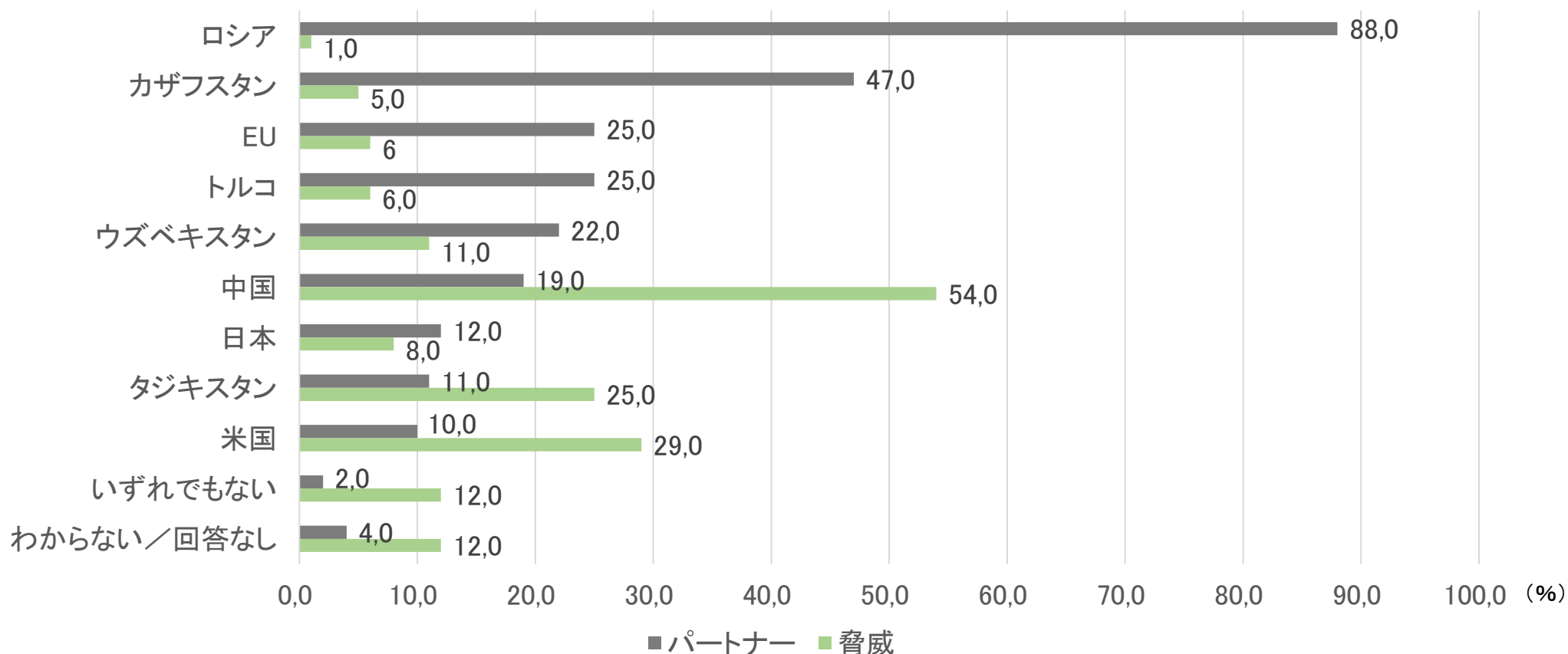


- 中国が進める一帯一路構想の一部。
- 中国のカシュガルからキルギスのトルガルト、カザルマン、マクマル、カラ・スー等を通り、ウズベキスタンのアンディジャンへ抜ける鉄道ルート。
- 2024年12月27日にジャララバード州で起工式を開催。建設は6～8年、事業総額は30～50億ドルとの見積もり。

年月日	出来事	備考
2024年6月6日	「中国・キルギス・ウズベキスタン鉄道」事業の共同推進に関する3か国間協力覚書署名。	ジャパロフ大統領は署名式にビデオメッセージを送り、「この事業は、有名な『一帯一路』イニシアティブの重要な構成要素となる。」旨発言。
2024年12月27日	「中国・キルギス・ウズベキスタン鉄道」建設開始式典（於：ジャララバード州（キルギス））の開催。	キルギス側からジャパロフ大統領が出席。「（同鉄道は）単なる輸送回廊ではなく、東西の国々を結ぶ重要な戦略的架け橋である。」と強調。習近平中国国家主席、ミルジヨーエフ・ウズベキスタン大統領はメッセージを寄せた。
2025年6月	「中国・キルギス・ウズベキスタン鉄道」キルギス部分（全長304キロ）の本格着工開始。	トロバエフ内閣副議長が同鉄道建設事業実施会合を開催し、キルギスを通る鉄道部分の本格着工を発表。建設の総費用は47億ドルの見込みである旨発表。

2-7 中国への経済依存: 参考③世論調査の結果(2019年)

世論調査:「これらの国をキルギスにとって経済的パートナー、又は経済的脅威のいずれと見なすか」

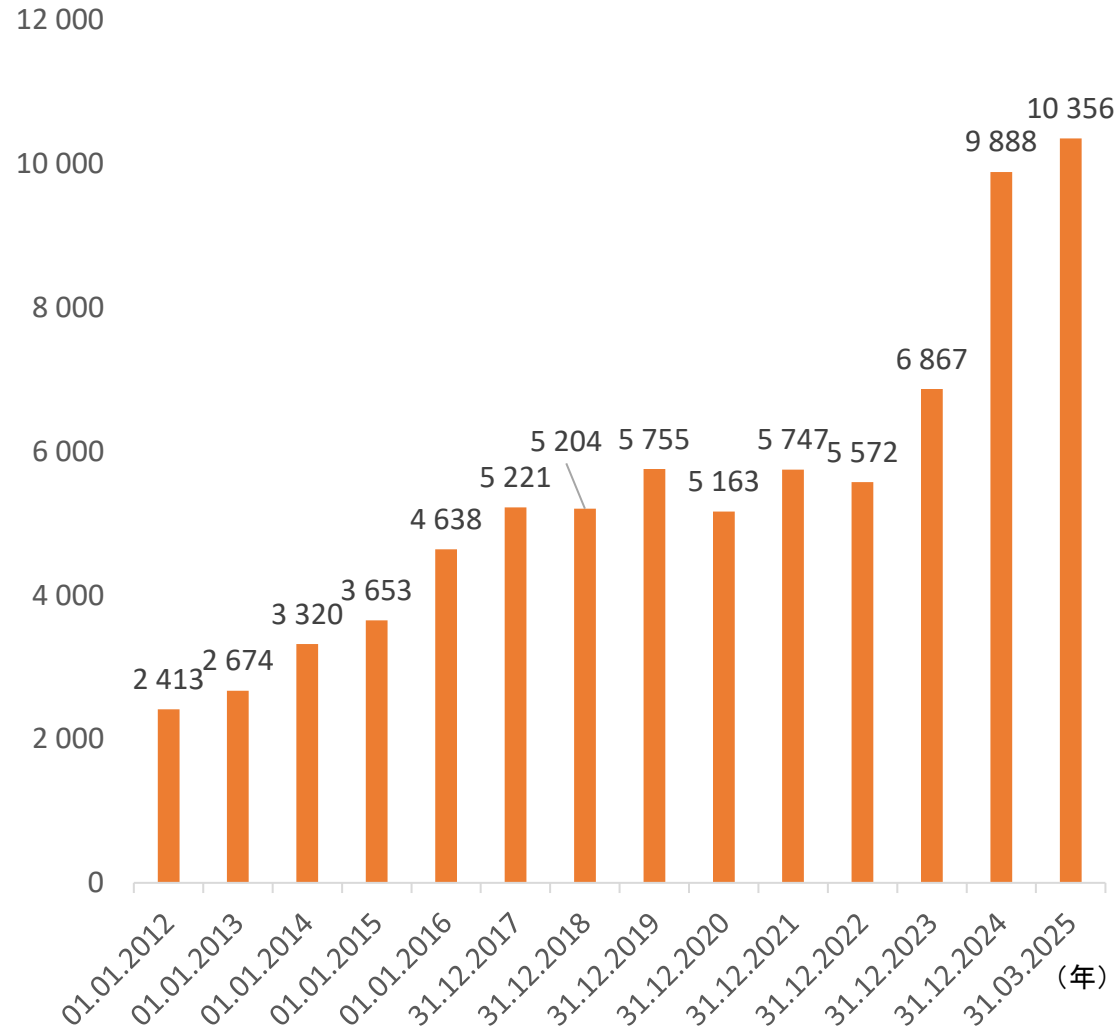


- 上記世論調査はIRI:International Republican Institute in Kyrgyzstanにより2019年11~12月にかけて実施されたもの。
- 18歳以上1483人のキルギス人が対象。

2-8 キルギスへの投資

ストックの推移(直接投資額)

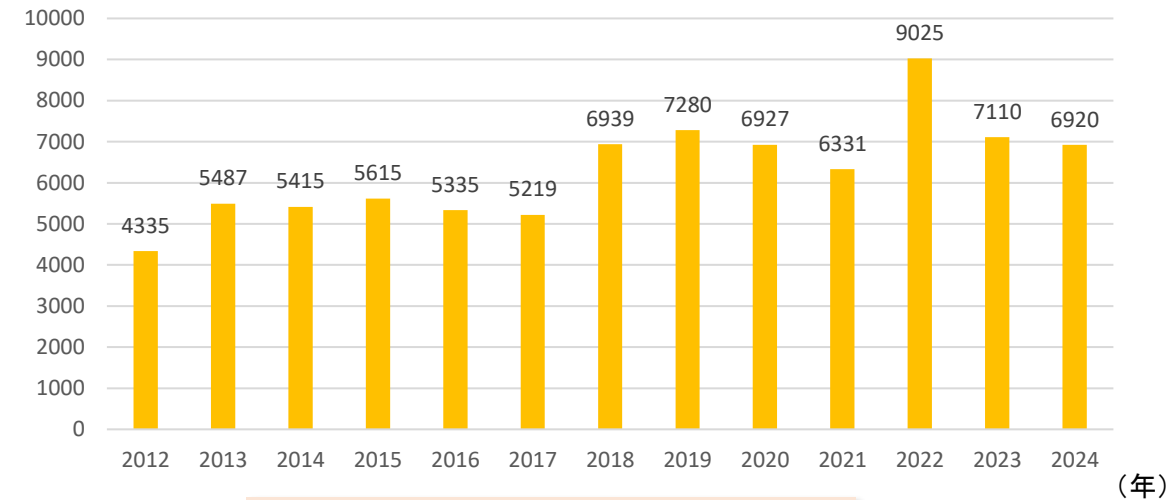
(100万米ドル)



外国からの投資流入額の推移

(注) 直接投資以外も含めた総額

(100万米ドル)

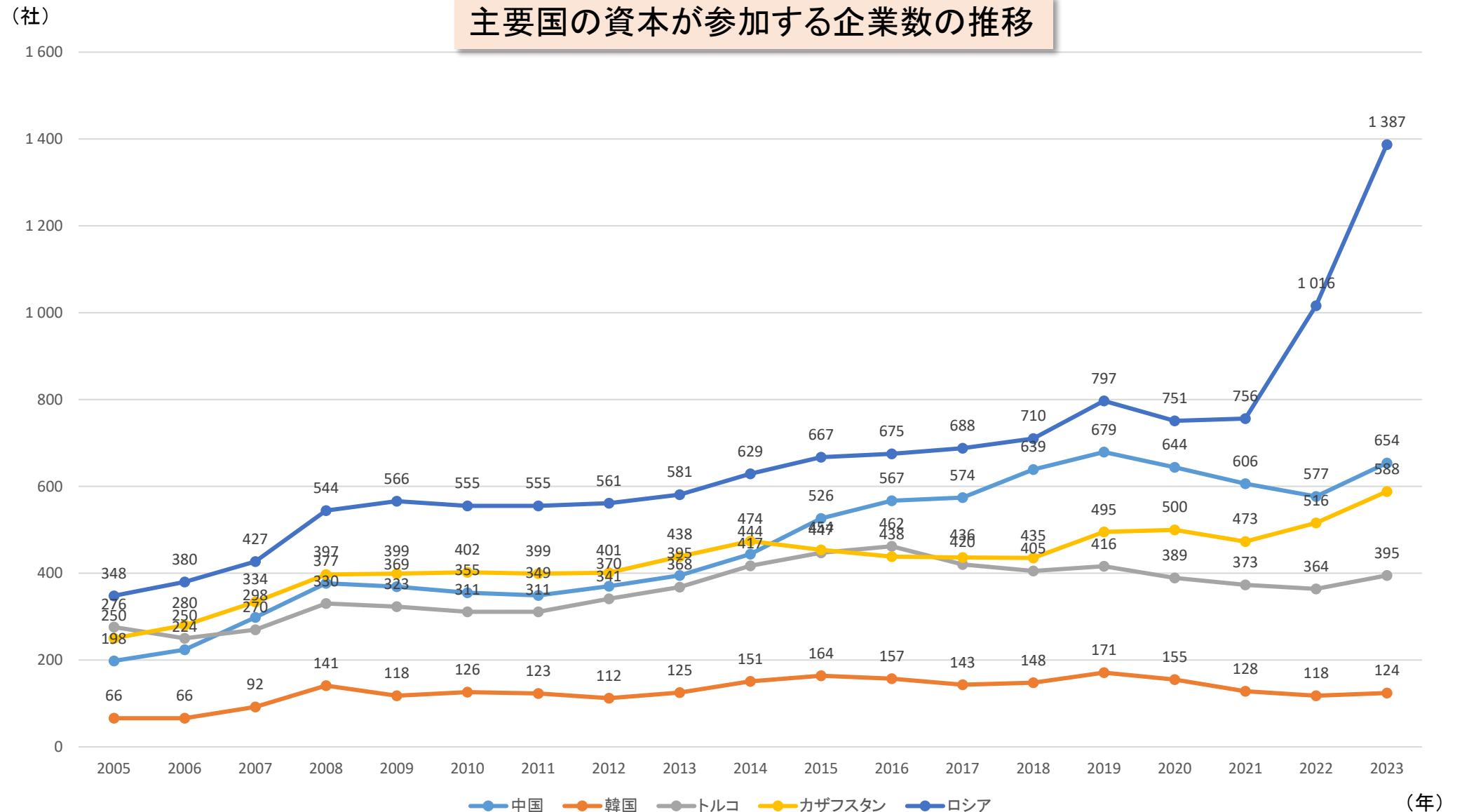


キルギスへの投資額トップ5

国名	投資額(千米ドル、2024年)
ロシア	3565255.7
カザフスタン	777079.1
中国	696385.7
トルコ	220257.7
スイス	204041.0

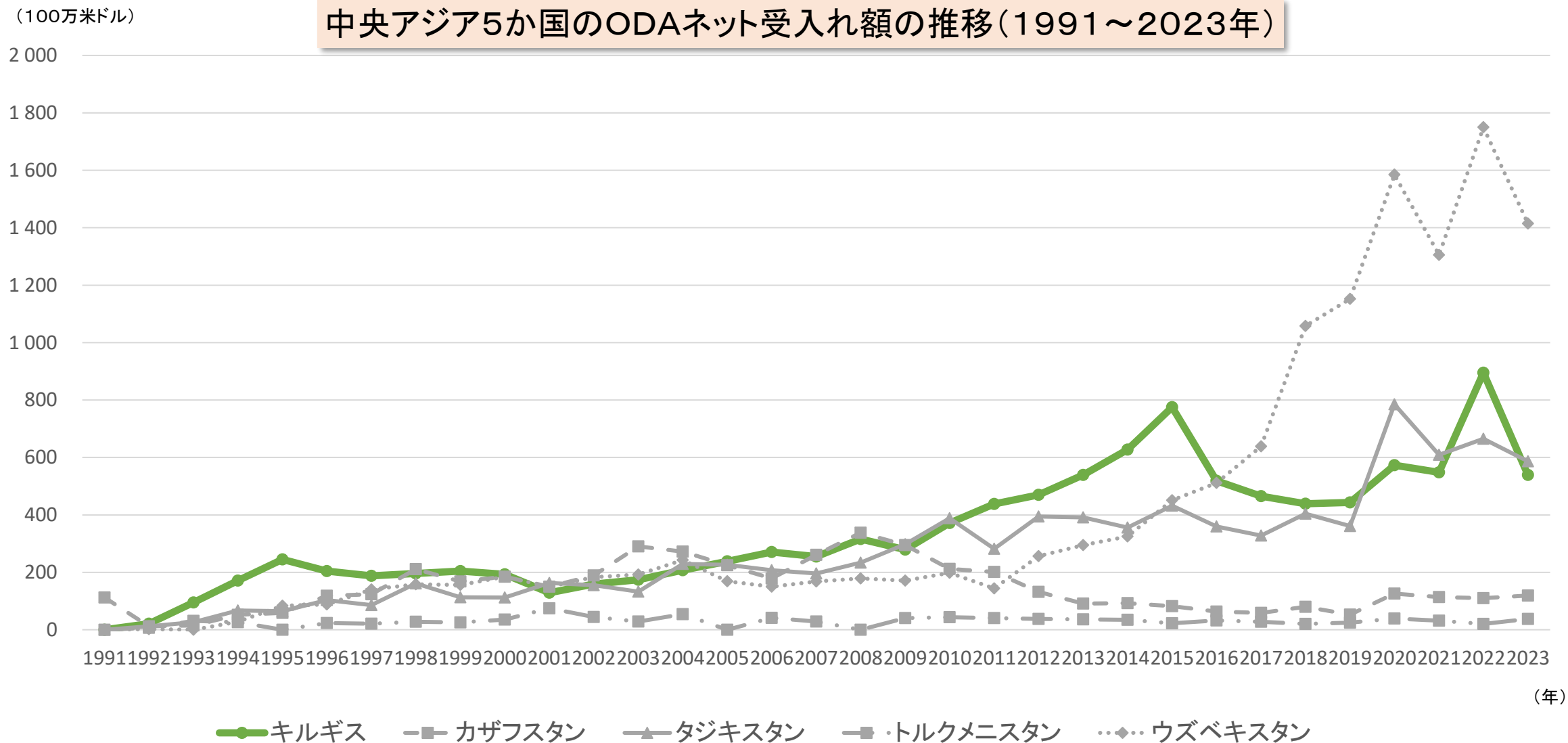
2-8 キルギスへの投資：国別外資系企業数の推移

主要国の資本が参加する企業数の推移



2-9 外国及び国際機関の対キルギスODA①

中央アジア5か国のODAネット受入れ額の推移(1991~2023年)



2-9 外国及び国際機関の対キルギスODA②

最近の主要ドナーの対キルギスODA実績

単位:百万ドル

暦年	1位	2位	3位	4位	5位
2019年	米国 48.10	独 32.63	日本 27.91	スイス 22.54	韓国 9.37
2020年	米国 45.08	独 24.66	スイス 24.09	日本 22.72	韓国 12.56
2021年	米国 48.70	独 41.44	スイス 27.36	日本 17.44	韓国 10.83
2022年	米国 43.51	独 28.59	日本 27.92	スイス 22.96	韓国 14.73

最近の国際機関の対キルギスODA実績

単位:百万ドル

暦年	1位	2位	3位	4位	5位
2020年	AsDB 93.22	IMF-CTF 82.46	EU Institutions 76.45	IDA 40.47	IDB 22.01
2021年	AsDB 167.33	EU Institutions 75.80	IDA 46.59	GFATM 18.81	IMF-CTF 8.56
2022年	IMF-CTF 319.66	AsDB 177.77	IDA 110.38	EU Institutions 26.60	IDB 22.55